京城日報

○露都より長文電報到る 外務省の密議と露大使の訪問

廿三日本野駐露大使より長文の電報外務省に到着するや石井外相幣原次官以下俄に會同秘密に鳩首凝議する處あり尙ほ大隈首相にも其旨を通知せるが東京駐在露國大使も石井外相を訪問し何事か密議する所ありたりと（東京電報）

○長沙革軍の獨立標榜

長沙に於る革命軍は同地將軍府を襲ひ獨立を標榜せり（長沙電報）

○支那討伐軍費借款説

支那政府は討伐軍費の急を補ひ且つ財政の困難を救ふ爲酒煙草專賣收入を擔保として某國資本團より一千萬元の借款を起さんと交渉中なりとの説あり（北京特電）

○露軍尙ほ土軍を追擊中 更に捕虜戰利品夥し

露都公報に曰く露軍は今尙ほ敗戰の土耳其軍を追擊しつゝ更に二萬五千四百九十八人の土軍を捕虜とし且つ大砲六門と無數の軍需品を鹵獲せり（倫敦電報）

○伊軍トの東方に勝つ 一山地及び兩市街を占領す

羅馬來電公報に曰く伊太利軍はコノ地方の山地及びロンヒグノ、ロンチノ兩市街を占領せるが之等の地點は何れもトレンチノの東方に當り其の距離遠からず（紐育電報）

○英軍飛行隊の活動 蘇士運河の東方=敵の發電所破壞

英國公報に曰く英軍は飛行隊をして蘇士運河の東方なる敵の前衛を偵察せしめ其の内の一機は六百呎の上空より百磅の爆彈を投下しエルハスサマなる敵の發電所を破壞したりと（倫敦電報）

○商船擊沈延期の意志無し

伯林政府は武裝商船擊沈に關する勅令の實施を延期するの意志なき事を表明せり（桑港電報）

○露分捕艦返却説

日露兩國政府間には目下日露戰役當時の分捕艦返却に關する交渉進行中なり若し日本にして分捕艦を返却せば露國政府は之に對し特殊の政治的報償をなす事となるべしと傳へらる（東京電報）

○解禁と鐵價暴落

英米政府と交渉中なる鐵の戰時禁制品解禁と共に米國より鐵材の輸入あるべきを見越し鐵價暴落せり（東京電報）

○燐寸又復暴騰

原料不足の爲め昂騰しつゝありし燐寸は又復大暴騰をなせり（東京電報）

廿四日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 … 廣告料 … 發行兼編輯人 … 印刷人 … 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 …

○三派大合同か

政府與黨三派は又復大隈首相の在官中を期し大合同を策せんとすと傳へらる（東京電報）

○與黨結束を圖る

政府與黨は近く政變の起るべきを氣構へ豫め之に備ふる爲頻に與黨議員の結束を圖り居れり（東京電報）

○臺灣勸業共進會

四月十日より開催さるべき臺灣勸業共進會場は第一會場たる總督府新廳舍の工事は勿論第二會場たる苗圃の貴賓館其他の各館共工程を進めつゝあり且つ共進會事務所は非常の多忙を極めつゝあり而して廿五日頃には同事務所は第一會場の地下室に移轉さるべく内地よりの出品は每航續々到着しつゝあり又上海其他南洋方面の出品も多數到着しつゝあれば三月早々之れが陳列に着手すべしと（臺北電報）

○總督茶菓饗應

寺内總督は既記の如く二十四日午後三時半より土木局出張所長及び各道土木主任を官邸に招き茶菓の饗應あり干係各部局長官、課長等亦參列したり

○若見侍從武官

西鮮各部隊慰問中の若見侍從武官は二十四日朝新義州發平壤に向ひ二十六日午後六時二十分南大門著入京大觀亭に一泊し廿七日朝元山に向け出發北鮮各部隊慰問の途に就く可と

○土木主任會同（第四日）

土木局出張所長並に各道土木主任會同第四日は前日に引續き廿四日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、出張所長及び道主任は勿論總督府よりは寺内總督以下關係各部局長官課長等出席し持地局長統裁の下に日程に入り長官の指示後寺内總督は一同に對し懇切なる訓示を爲し午後三時散會したり

○麥作實收高 總額六百六十三萬餘石 前年に比し一割七厘增

大正四年の麥作は一月に於て近年稀なる低氣温の來襲せるありて凍害を被りたる地方少からず、又春季解氷後の氣温例年に比し低く且つ四月中旬より五月上旬に亘り降雨の量少かりし爲め其生育著しく抑制せられしも爾後天候順調となり一般に生育良好となれり唯北部の一地方に於ては收穫期に際し降雨多かりし結果多少收穫の減損せる處あり、今其收穫高を調査するに大麥小麥及び裸麥を合せ六百六十三萬四千七十九石にして之を前年の實收高に比すれば六十四萬五百三十五石即ち一割七厘又大正四年の豫想高に比すれば二十一萬二千九百七十三石即ち三分二厘の增收なり、麥實收高累年比較、麥作附反別及び收穫を表示すれば左の如し

麥實收高累年比較

年次	大麥	小麥	裸麥	計
	石	石	石	石
元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年豫想	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年實收	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

麥作附反別收穫高

○鹽價依然高騰 製鹽期まで持續か

昨年は降雨、曇天多かりし爲め鮮内の製鹽事業は尠からざる打擊を受けしが支那方面に於ては特に甚しき影響を蒙り關東州及び靑島方面の製鹽も著しく不況なりしより大部分同地方の供給を仰ぎ居れる鮮内の鹽價は秋季以來常に高値を唱へ居たるが昨今にては在庫品薄に掛て、當業者は需用期の切迫を見越し大に惜みの氣配あり、小賣業者亦貯鹽に汲々として放資を惜まず、廣梁灣の如き本年は既に貯鹽の廻送を開始せるに拘らず問屋筋にては其出廻高を豫想して專念買占めに努め居れるより鹽價は益暴騰して二月上旬來の仁川相場は支那鹽六十二錢乃至六十五錢、再製鹽九十錢乃至一圓五錢を唱へ之れを前年同期に比すれば優に二割以上の高値を示し而も益々底強の模樣なりと

○朝鮮物產陳列 東京出張所に常設

總督府にては今回鮮内の生產品並に製造物を東京芝區櫻田本鄕町なる總督府出張所樓上に陳列して汎ねく朝鮮開發の現狀を紹介し又た内鮮貿易の發展に資すると共に内地資本家をして朝鮮に於ける企業の參考資料たらしめる可く目下諸般の準備を急ぎつゝあり、而して同所に陳列す可き物品は既に總督府に於て選定濟中なれば遲くとも一二箇月中には全部の陳列を了へ一般の縱覽に供する運びを得べく、開所の曉には朝鮮產業の將來に裨益する處鮮少ならざる可し

○立花總長の招宴

立花總長は二十六日來鮮中の若見少將を官邸に招待し午餐會を開く筈なり

○咸西間輕鐵開始認可

咸興炭礦株式會社の計畫に係る咸興西湖津間輕便鐵道は不取敢假運轉の認可ありたるが既に補修工事も終了したるを以て今其筋より運轉開始の認可ありたり

大邱

▲寄附者に木杯　大邱高等女學校敷地買收費に寄附せし者に對し賞勳局より木杯を下附せられし者百七十六箇は二十三日慶北道廳に到著不日寄附者に配付の筈

▲長官出張變更　慶北道長官本多氏は豫て衛生模範地視察の爲め小貧野技手を隨へ二十三日出張の豫定なりしが都合に依り日程を次の通り變更せり
二十六日出發高靈に向ひ、二十八日大邱に歸着

▲記念品授與式　慶北道に於ける帝國在郷軍人分會にして昨秋御大典に參加したる尙州浦項大邱金泉の各分會には道廳御親閱の記念旗飾を下賜せらるゝ事となり既に大邱聯隊區司令部に到着したるが該旗飾は分會旗の旗頭に附着するものにして幅約二寸五分長さ約三尺の博多織にして二つに分れ白地に紅色の繼絵あり旗杆を附し純銀に金の紋章あり頗る高貴なるものなるが記念各分會長に出張近々聯隊區司令部に於て莊嚴なる授與式舉行の筈なりと

▲殉職者追悼式と調査　來る四月中旬京城に於て憲兵及び警察官にして殉職せし者の追悼式執行の筈なるが之に付朝鮮駐剳憲兵隊司令部副官大橋常三郎氏及び總督府警務總監部警務課長永谷隆志氏より三月二十五日迄に殉職者する者やら其の調査方を各道に通牒し當大邱警務部にも同報ありたるが内地人職員にありては明治三十八年十二月二十一日統監府設置以降の殉死者朝鮮人職員にありては明治四十三年八月二十九日日韓併合後職務に殉ぜられたるもの、原籍所屬官署氏名及び死歿年月日死殉の場所其の他原因等に關し調査報告ある可く二月十九日附を以て其々通牒ありたり

▲齋藤少將歸任　臨時朝鮮派遣隊巡視の爲め二十二日來邱せし齋藤少將は二十三日歸任せり

▲長官面長會議臨場　慶北道長官は二十三日達城郡廳會議室に於て開催せし面長會議に臨場し桑苗植栽…

慶山

▲輕鐵敷設期成會　慶山郡にては近頃輕鐵敷設の計畫を圖り其の目的を以て慶山永川間の輕鐵敷設期成同盟會を設立し代表者大山井平氏より慶山郡廳を經て道廳に陳情書を提出中なるが其の趣旨は邱浦間輕鐵敷設の上は從來慶山に吸收せる永川新寧河陽方面の客貨は之を大邱に奪はるゝは慶山經濟界の衰頽を來すに至るべきを惧れた慶山郡の有志者は輕鐵をして慶山に迂回せしむるか又は慶山永川間に輕鐵敷設を期する爲め同盟會を發起するに至りたるなりと

▲君か後府書記出京　大邱府書記君か後氏は學校組合協議の爲め向ふ一週間の豫定にて二十三日出京せり

漆谷

▲組合管理者更迭　慶北漆谷學校組合管理者白石傑馬氏は今回止むを得ざる事情の爲め去る二十一日附を以て辭表を提出せしが其の後任として慶北道廳官木原吉氏任命せられたり

釜山

▲府協議會開會　二十五日午前十時より釜山府廳樓上に於て大正五年第三回府協議會を開會し左の諸案を附議すべし
第十一號議案 …
第十二號議案 …

▲三宅課長の渡鮮　遞信省電氣局監理課長三宅福馬氏は技手を隨へ二十三日午前新羅丸にて上陸當日は釜山郵便局、府廳其他を訪問しホテルに一泊の後廿四日午前十時半にて京城に向ふ

▲大原水產組合長　大原水產組合長は上野技手を隨へ廿三日巡邏船江原丸にて三千浦其他視察の爲め出張す

平壤

▲西鮮米界沈靜　近來西鮮の米界頗る沈靜し殆んど商動きの見るべきものなきが是れ米價の軟弱と大阪方面に於ける需用の鬱多なるにより品柱文の稀なるに一方地方鮮人の貯米筋は先高を思惑して強氣に出づる爲めなる如く或は各河川の結氷期に融解せんとし鮮舟の航行不便なる爲め南浦への廻米振はざるならんとの觀測をなすものあれど假りに遠に一陽來復すも阪神方面の滯米荷捌け更に多少價格の昂上を見るに非ざれば始らく活況を呈せざるべしと

▲中學敷地寄附　平壤中學校新築工事は昨今切りに地均し等の作業を急ぎつゝあるが平壤學校組合管理者より總督府に對し右敷地に相當する三千百五十五坪の寄附を申出で居りし所此程許可となれり

▲軍人後援會　帝國軍人後援會朝鮮支會平南部會の會長は松永武吉氏部會副長は篠田治策滿元治郎の兩氏囑託されしが近く其の事務所及び事務員の決定を見るべく事務所は多分平安南道廳内に設けらるゝことなり更に委員等の人選をなすべし

▲篤農家の自費講習會　江西郡の模範篤農家を以て稱せらるゝ賓中鶴氏は最近個人にて一萬を出し二十名の青年を集め農事講習會を開會せしが此の一事は農事に對する地方一班の向觀はれ喜ぶべき現象なりと道當局は語れり

白馬

京義線白馬驛附近に過日以來夜間猛獸連夜出沒し農家飼養の豚若くは犬等を咬殺し一般の損害少なからず近在頗る恐慌し居れるより管轄警察署にては猛獸狩を企畫中なりと

京釜線より（一）　神崎生

◎二十三日午前八時半南大門驛發。龍山に横井汽車課長あり、井上中將見送りの爲めとあれど中將無し少々待呆けの體に候。車中中村再造氏あり、湖南線へ赴くなりとか、傍に文の屋の文子ありお伴かと見ればさにあらず、文子は神戶へ行く其道中委託を文の屋の主婦に受けしものなりと、聊か道を安んず。

◎天曇りたれども氣溫く、速度する山々は緒禿ながら山際を辿れば梅の小村もあらむものをなど思はせられ候。

◎二日分の新聞を讀破して、稍や氣うみたる頃列車は大田に落し候。
寸の芽の麥に麗ふ沃野哉

香南雪北

平壤栗は平壤丈けの名物でなく今や朝鮮の名物の一として名高くなつた▲其處で平安南道では大に生產を獎勵して茲十年を出ずして廿萬圓内外の特產物たらしむべく種々畫策して居た▲處が元來栗の移出に就ては殆んど禁止税にも等しい多額の移入税を課せられて居る▲即ち併合當時我政府は十個年間關税は其儘据置にする旨を宣言したので▲今日に至るも百斤につき七圓八十五錢の移入税を課せらるゝから獎勵したくも過し相ならなかつたが▲今度之れを從價税に改めて税率を三割に定める所謂税率引下げ案が衆議院に提出された▲無論通過し相なから朝鮮の爲めには幸福である上に益々其の產出も多くなる事であらう▲湖南線裡里の酒屋からフォルマリン含有の悪酒を發見したとの事▲早速廢棄を命じたものは銀鶴と云ふ十九石正勝九石である相な油斷が出來ぬ飲酒家は注意を要す▲金物騰貴の爲め内地では伊勢灣や廣島灣などの海底沈沒物の砲彈採取を計畫して居る人がある▲仁川の海底などにも大したものがあるのだらう▲金甫木浦の奈良栗と云ふは多島海楸子島沿岸で五十年前沈沒した日本船の引揚を出願して居る▲トロール船などの餘を聞いても多島海底には不可思議な沈沒物が多く大きな錨などが時々網にかゝると云ふ▲孟骨群島や竹島や濟州島沖などには大したものがあるのだらう▲英國東洋艦隊の旗艦や鐵類九の沈沒もあつたりまた陸島近海や濟山沖には日露戰爭の時の沈沒艦があるのだからナア

安東縣

▲支那官吏減俸　南支動亂の爲討伐軍費に充當する目的にて今回北京政府は各省官吏の俸給を三割方減額することに決定し此旨奉天當局より東邊道尹へ通報ありたるに依り道尹は直に管下各縣へ移牒せりと

▲屠獸敷地決定　安東屠獸場敷地問題に關し今回日支師議員會を開き協議せる結果愈々新市街魚菜市場東方の空地を選定することに決定したりと

間島

▲公立病院設立　龍井村現在の間島病院は外務省囑托醫久賀醫學士の個人經營なるが事情未だ積極的發展を許さゞる數年前の間島ならば同病院を以て滿足したらんも其の後間島の情形は一變して間島に於ける唯一の衞生機關としては組織之に伴はず其筋に於ても茲に見る所あり組織を公立に改め完全なる醫院を設立するに内決し既に企畫を進め居れりと謂へば近かく實となつて現はるべしと因みに同病院にては此程巡回施療の新組織を樹て各商埠地を巡回鮮人患者に臨みたるが初陣としては大成功を收め施療人員六百餘名此延人員六千名に及びたりと因に同巡回施療は今後毎年二回鮮地同樣之れを行ふ由なり

人事消息

○野田東拓副總裁　野田東拓副總裁は二十二日正午公州より來淸午後二時半自動車にて忠州に向ひ同地一泊の上二十三日當地歸著の豫定なり（淸州）

▲前島閑氏（朝鮮瓦電會社重役）　廿三日内地より釜山著
▲三宅福馬氏（遞信省技師）　同上停車場ホテルに投宿廿四日朝京城へ
▲廣江澤次郎氏（廣江商會主）　阪神方面へ旅行中廿四日午前歸京
▲古城梅溪氏（贊化病院主）　夫人病氣轉地療養の爲め廿三日夜龍岡へ
▲金子圭介氏（漢城日報社長）　廿三日釜山上陸
▲ブレンスキー海軍大尉（東京駐在露國大使館附武官）　同上大連へ
▲井上中將（交通團長）　二十四日午前北行
▲林繁藏氏（稅務課長）　稅務視察の爲め二十五日より京畿及び黃海道管内へ出張
▲山口諫男氏（大阪每日特派員）　地方出張中の處令息の訃報に接し急遽廿四日朝歸京
▲ハリス博士　廿四日朝小樽へ
▲野田東拓副總裁　南鮮旅行中二十四日夜九時歸京の筈
▲岸本大佐（參謀本部附）　同上安東縣へ
▲岡航空大尉　二十四日午前内地へ

營業案内

京城出張所 乘合自働車 片道賃金四圓 ○京城發……午前七時 ○春川發……午後二時 京城水標橋五十番 京春自働車商會 電二二三八

滿鮮第一 漬物味噌問屋 嶋屋本店 京城岡崎町

長壽靈品は「ヨーグルト」 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番 滋養と健康の母は荒井の牛乳

カフェー、タイガーの名物（金廿錢） 新案 ハイカラどんぶり 是非試し召上れ出前も致します 南大門通三丁目電話二五七一番

栗羊羹デー 廿三日より廿七日マデ 特價十三錢 京城本町二丁目 龜屋

月桂園 京城旭町二丁目 （電話九九八番）

東京 雛人形 雛道具 京城本町一丁目 サクラヤ

石炭 明治町一丁目 村山商行 （電話一〇五一番）

夜間撮影 夜寫し開始 寫眞界の革命 窒素電球之利用 京城 …寫眞館

小田原あたり春日麗かにて 御機嫌いと麗はしき兩殿下

目下小田原御用邸に御避寒中の淳宮雍仁親王、高松宮宣仁親王兩皇子殿下の御近狀を洩れ承るに兩殿下には學習院に於けると御同樣日々御用邸内なる御學問所に出御淳宮殿下には中等學科第一學年御在學中に付松平傅育官並に目白なる學習院より大野木、白石、飯塚、倉繁、青柳の各教授交代にて出張普通各學課を御教授申上げつゝあり語學は特に青柳教授より佛語を御教授申上げ居れるが頗る御聰明なれば近來は近衛、奥田、小笠原、毛利等の御學友と共に佛語の御對話等に興じさせ給ふともあり猶高松宮殿下には初等學科第五學年御在學中なれば作間傅育官專ら御教授に任じ居れり斯くて一月初旬御避寒以來御勉學の餘暇に御手製の飛行機、玩具其他御彩筆鮮かなる靜物風景の御寫生畫等も數多く拜し奉ると承る猶天氣晴朗なる土曜日曜等には傅育官及御學友と自轉車を連ねて附近の勝地蹟跡を訪はせられ御健康も彌が上に麗しく拜し奉る

村田銃一萬挺の密送 大連輸入の計畫=警察の大活動

來る三月三日大連入港の豫定なる康達丸に村田銃一萬挺彈藥五十箱爆彈八十箱搭載密航を企てしものあり其筋に於て嚴探中なり(東京電話)

布哇土人から五十萬圓

福島縣伊達郡掛田村海林播四郎は去る明治廿二年妻と共に布哇に渡航し妻の死去後同地の親切なる土人夫婦に一男一女を養子に遣りしに此程土人夫婦死去遺言狀に遺産五十萬圓を養子に遣るとありしと桑港より入電あり(大阪電報)

咸鏡丸 注文津へ單獨廻航

江原道江陵郡注文津沖にて坐礁したる朝鮮汽船咸鏡丸は二十三日午後二時三十分引卸し船體に異狀なく無事注文津へ單獨廻航したり損害額は目下調査中にて不明なるも船體に差したる異狀なければ大約一萬五千圓位のものに過ぎざるべしと

水禽撃ち これからが季節

漢江の水温みそめし頃日はまた水禽撃ちの好季節となつた、暖かい南の國の花を見捨てゝ行く雁は昨今毎日のやうに半島の空を掠めて次第々々に西比利亞に旅立つ彼處の沼此處の流れに雁鴨類を擊つべきは正に今日此頃の機會である、南内地から西比利亞へ還る水禽の群は多く朝鮮東海岸の江原道から咸鏡南北道沿岸を傳うて北進するやうである、それで江原道の南部地方に昨今留りつゝある渡り鳥の群は陽春四月の頃は遠く國境圖們江方面に移つて了ふ、思へば水禽も亦氣まぐれ者の漂泊者である、京城附近では多く漢江から京仁線の素砂、京義線の水色、京釜線の牛潭あたりが好獵場で近い場所では纛島の東拓農場が最も面白い、併し何處へでも勝手に降るので或は例年の獵場に番狂はせが出來るかも知れぬが兎に角四月の禁獵期までに好獵家の腕試しする時期となつた、雉子は今年は一般に駄目のやうである

二萬五千餘圓を支拂へとの判決 原告は元妓生たりし朝鮮婦人=被告は内地婦人

元妓生たりし朝鮮婦人が内地婦人に係る債務履行を請求せる訴訟事件あり原告は京城觀水洞の裵貞子にして同女は辯護士辰巳本丸氏を訴訟代理人として京城若草町居住の井手房子を被告として相手取り保證債務履行請求の訴訟を京城地方法院に提起したるものなり其の請求金額六萬五千圓にて被告側は辯護士松本正寛氏を訴訟代理人として原被兩造間に辯論あり審理判決の結果被告は原告に對し金二萬五千四百四十七圓を支拂ふべしとの判決となりたるが其事實としては原告裵貞子の前夫玄英運は明治三十九年中五十八銀行より京城大和町一丁目外四箇所の土地並に家屋を代金三萬二千圓にて買受くることゝなり之を裵貞子の所有となすに當り表面上の都合に依りて當時懇意の間柄なりし前記被告井出房子の養子井手三郎に依頼し前記の土地家屋の買收を了し且つ名義上のみ井手三郎の所有として井出が管理中同人は種々の事業に失敗し其結果事實裵貞子の所有なる土地家屋なるも自己の名義なるを奇貨とし銀行會社等に之を抵當として借入れ十萬圓以上を借金したり目下該土地家屋は時價前記請求金額の價ありといふ次で井手三郎は横領罪を犯し懲役一年六箇月の處分を受けて入獄する身となりたるより茲に裵貞子は最初の契約に基づき何時にても名義を書換ふるといふ條項あるを以て養母たる房子に對し右の訴訟を提起したるものなりと

大司教一行長崎へ向ふ

ペトレリー大司教一行二十三日夜下關著丸山天主堂へ一泊今朝門司に渡り廣石教會を視て長崎より出迎のコンバス司教と共に午前十時四十五分發長崎へ向ふ(門司電話)

三つ兒を產む 母子共に健全

京城崇二洞百番地靴工李明鉉の妻梁姓女(三〇)は二十三日午前七時頃男一女二の三つ兒を分娩したり母子共頗る健全なるが同女は曩に三名の子女あり假に六名の幼兒を有ちたる次第なりと

袁總統と蒙古王公 頃日袁總統は蒙古懷柔の爲め活佛以下内外蒙古王公に對し位階を進め勳章を與へ優遇至らざる所なし、袁總統は亦王日新華宮内懷仁堂に於て盛宴を張り王公等十餘名之れに列席せり寫眞は各王公の新華宮に參集せる光景

廿一名の巫女 檢擧さる

例年陰曆年末及び歲首には朝鮮の習慣として新年の吉凶禍福を卜するもの多からず此期に乘じ例の巫女は濫りに吉凶禍福を説き愚昧低級の者を煽動して新年料を貪るもの少からず殊に開城に於ては巫女の跋扈すること夥しく其弊害を見逃すべからざるより開城署にては舊正月となり是等巫女等が鉦鼓を鳴らして方々に祈禱するもののあるより是が大檢擧に努めたり取調べの結果彼等は普通一回の報酬二圓乃至五圓位にて病氣平癒の場合は五六十圓乃至百圓を貪りつゝありしものなりと檢擧されたる左記二十一名は警察犯處罰令に依り各拘留二十日の處分となりたり ▲開城南本町李光成妻洪光姬(四四)▲北本町柳大鉉妻林福主(五〇)▲宮町崔命吉(六九)▲南山町洪氏(七二)▲南山町韓基赫母馬仁九(五七)▲同朴南奎妻李化順(五二)▲大和町金炎迎妻朴春點(三九)▲同金順福妻李陰全(四一)▲同徐洪範妻吳氏(五〇)▲同趙敬三母白順永(七一)▲同金聖奎母崔福伊(六二)▲同趙鍾瑞妻崔京善(三七)▲滿月町田得瑞妻申貞伊(五六)▲同朴致英妻張氏(五六)▲西本町金俗心妻朴聖陽(七〇)▲同金龍伯妻趙氏(五二)▲京町朴宜非妻洪基鉉(五四)▲同張其道妻崔千守(五九)▲元町張道列妻韓元福(六七)▲東本町深理坤妻朴氏(十三)▲京町崔興永妻崔福夜(五八)

散彈少女を殺す

京畿道水原郡安龍面細里中金次方に於て二月十九日午前十一時頃同居人岡田藤三郎(三七)が雉子獵をなさんと自宅温突内に於て元折二連銃に裝彈し入口の戸に立掛け置きて同人は土間に下りんとする際誤つて右の肩に觸れたる爲め銃は倒れて發彈し同室内にて遊びゐたる同人の實妹あき子(三)の左眼に命中し後頭部を粉碎して即死せしめたる椿事に水原署より警官出張檢視の上屍體は家族に引渡し藤三郎は過失殺人罪として其筋に引致されたり

高等女學校割烹練習

南山町の高等女學校にては三月の節句祭近づけるを以て其の準備として二十三日より二十五日迄三日間正午生徒の割烹及び作法の總練習會を開けり二十四日は總督府學務側京畿道廳並に府廳の學務係を招待して實地に就き種々の批評を乞へりと

列車に投石さる

二十二日午後七時五十分南大門驛發釜山行の急行列車が水原驛を距る北方約一里半の附近を進行せる八時五十五分頃何者か列車を目蒐けて投石したるものあり手荷物緩急車の右側の硝子一枚を破壞せしのみにて人命に異狀なかりしが目下水原署に於て犯人嚴探中

□野菜は廉いが魚は高かい 今は畑のものも海のものも一番尠い時季

例年昨今は野菜の拂底期で隨つて値段も高く蔬菜向きでは非常に困るのであるが今年は品もあるし値段も廉い、外の物價は

□どんどん騰る

のに野菜類ばかり値が出ないので閉口だと當業者が滾す位だがその割合に賣行が捗々しくないのは不思議であるが今年は牛肉の競爭が烈しかつたため野菜に影響が來たものだらうとも思はれる市場から仲買人の手に渡る

□十貫匁の相場

は葱一圓四五十錢、水菜三十錢、韮一貫二十錢、萵苣一貫七八十錢で之は皆内地から來るもので水菜の非常に安いのは品が多いため、萵苣の素敵に高いのは珍らしい品だからださうだ、京城附近に團つてあるものは蓮根の四圓、午蒡の一圓五六十錢、人參の一圓二十錢、薩摩芋の一圓五錢、里芋の一圓三十錢位で之等種類が大部分を占めてゐて昨年より

□二三割方廉い

果物では蜜柑が五十錢、ネーブルが六十錢、梨が三貫七八百匁入石油箱一圓三十錢林檎四十斤入一箱二圓四五十錢位で蜜柑は大分品不足を告げて來た樣だ、次ぎに魚類は二月から三月の中旬にかけて例年最も少ない時節であるが本年も矢張り少ない、種類も少ない時だがそれでも鯛、黑鯛、甘鯛、平目、鰡、鰈などがボツボツ釜山

□統營邊りから

來る小物ではアナゴ、サヨリ、章魚などもある、魚の相場は猫の目の玉の樣に變動があるので明確に記す事は出來ないけれども此の十日間ばかりの平均を見ると百匁の値段が鯛で三十錢乃至四十錢、平目が二十錢、鰈が二十二三錢、黑鯛が二十錢位、甘鯛が二十三四錢、章魚が十二三錢、アナゴが十四五錢、サヨリが十四五錢位のもので

□平月に比べる

と大分高い、之れから味の出る鯖は昨今まだ餘り澤山來ない際だ

電車に衝當る

京城電車の十六號が二十四日午前十一時五分頃黃金町を進行中同町百五十六番地京城府衛生人夫の金聖根(四七)が線路を横切りて該電車に觸れ顔面に輕微の擦過傷を負ひたるが最寄の醫師につき目下加療中

巨狼に襲はる

平北熙川郡東倉面新竹里農鄭基化方の豚小屋に二月八日午前八時頃二頭の巨狼闖入し牝豚一頭豚兒七頭を食ひ盡し逃走したり

川村將軍令孃の訃

川村第九師團長令孃つた子(一〇)は豫て腸炎に罹り金澤にて靜養中の所肺炎を併發し昨夜七時逝去せり

二 山寨の酒宴 唯一人の日本人 清道大王の招待

其の晩山麓の本溪湖驛と福金驛の中間なる日本人は皆な平頂山から夜宴に招待された。主人側の名は招請の書狀に明記して居らなかつた。何んだ馬鹿々々しい

□馬賊の御馳走に

招ばれたからって行かれるものか—で、日本人は行かなかつたが本溪湖の炭坑の事務員を爲て居た島田兵吉と云ふ若い男が皆なを代表して行く事に成つた。此の馬賊物語は此の男の目擊した處のものだが。此の男は大久保利通を暗殺した島田一郎の末弟だと云つて居る、短軀倭少を爲て居るが却々の剛膽者で其上人一倍の好奇心の強い男だから斯んな時のお客樣に成るのは願つても無い仕合せであつた。島田は夕刻に成るのを待遠しく日が沒ると直ぐ贈物の五升樽へ詰めた酒を苦力に擔がせて平頂山へ登つて行つた。路は山をグルグル廻つて漸く絶頂へ達する樣に出來て居る成る程これなら

□急に下から攻め

登られる樣な事は有るまいと感心しながら低い煉瓦の門を潜つて寺の中へ這入ると如何にも景氣が好ささうに物を煮る匂ひや肉を燒く香が一杯の中で多人數の支那人が騷ぎ廻つて居る。日本人の來客と云ふ樣な事が門内で働いて居る支那人の口々から奥の方へ傳へられると奥から小綺洒した服を着た

□老人が迎へに出

て先づ々々と奥の方へ導いて行く。柵束ながら内門が三つばかり行つて其の奥に可成に大きな支那家屋が新築されて居る、此の家屋は全く支那人の中流以上の農家風の建方で佛寺の建築では無い。島田は其の新らしい家の上客室と云ふ樣な部室に通されて山上の家には相應しからぬ

□紋緞子の褥の上

に請じられた。案内に出た老人は今郎目を紹介するから暫く待つて呉れろと云つて出て行つたが、間なく一人の若い男は老人の背後に付いて部室に這入つて來た。見ると身の丈は除り大きくは無いが横に肥ゑ太つた三十五六の男だ。眉が太く濃く血色の好い顔に目の優しい男だ。然し無いのが職業柄

□聊か物足らぬ樣

に感じられた。若い男は黑繻子の支那服の懷中を探つて、赤紙の名札を差し出した。大きな名刺には墨痕淋漓と清道大王鮑越と書いて有つた。ね。清道大王は極めて愛嬌よく登山の御禮を述べ且つ贈物に對して慇懃なる禮を述べたさうして居る間に茶が運ばれる。

□菓子が出される

老人の云ふのに自分は此の麓の柳家村の里正であつて名は順伍と云ふで有るが前に降天雷王が此の山に居る頃は大變に保護を受けて、お蔭で草賊の出沒する者が無かつたが降天王の去つた後は時々な強盜が村内に押入つて困るから自分の妻の姻戚に當る此の清道大王を迎へて此の山に居つて貰ふ事に成つたから

□何分宜しく賴む

と云ふ樣な事を云つた。恰度廣間の方で酒宴が始まつたからと小孩が報らせて來たので、島田は二人に導かれて酒席に就いた。幾多の卓上には山海の珍味が並べられて居る。

怨の刃傷か 二十二日午後…は鋭利なる短刀にて咽喉部を突き刺…く多額の金老人に怨恨を懷き居たる者…

…が同日午後九時頃同所を出帆し沛項…鶴山洞に積載荷物を陸揚せんが爲…

篤志の婦人 大邱府明治町…

連絡船上陸客 廿三日午前…

廿三日午後釜山着連絡船弘濟丸(三)二等客 一等(五名)米人一、佛人一…支那人…

天氣 はれ 晴一時曇 二月廿五日

見よ 一擧米戰を試みんと欲する熱心の士は本書講讀の必要あり
今延調査部編纂……(廿日發行、一部金十五錢)
馬關市場風雲錄
全市を率いて市場を震駭せしめつゝある下關米取引所事件(眞相は恐懼な本書によりて其の醜體を世上に暴露さる(取引御希望の方には絶好の參考書)
三千部限無代 郵券三錢送れ
目次 一、市況の經過 三、佐伯と金穴山中の關係 五、佐伯の暗躍 取引所の裏面 七、谷對田中の喧嘩か 九、例の發表したる調査部の意見 二、機能を失ひたる米取引所 四、例の平と佐伯の對抗 六、暗闘 其の人 八、遂に分立と合併 跡 約定
毎月二回 今延米報 三十日發行 調査の正確識見の卓越せる本紙を御一讀の上確固たる方針の樹立を希望致候
大阪堂島米穀取引所仲買 今延商店 電話北長四六·四二分 自宅南 四五六番

家庭雜誌 三月號 定價拾錢
姑と嫁との間の調和(鳩山春子、安井哲子、棚橋絢子、吉岡彌生…)
家風と云ふ事…本誌記者 △家庭の交際に虛禮は禁物…横井鉄子 △火事と盜賊と家庭の心懸…山脇房子 △果食を實行する私の經驗…小畔四郎
救世軍に入隊した私の娘…德富蘆花夫人 △子供は自由に育てよ…河野教授 △小兒病の豫防と其治療法…白川學士 △東京の女學生の學資…婦人記者
勝手口から見たる下田歌子女史の生活
長篇小說 黃菊白菊(大好評連載)…佐藤紅綠
良人を擇ぶに注意すべき問題…三夫人 △我家の實驗…(廢物利用のいろいろ) △婦人の身嗜…(婦人の猫背と內股其他) △家庭の重寶…(子供稽古事の注意其他)
粗食の習慣を作れ…山路愛山 △鹽岸島の女仇討(悲話實錄)…芦田鈍子 △泣寢入り(童話)… △家庭實益仕立物の內職…高木教授
社會百生活…(中流主の生活其他七生活の研究)…婦人記者
新入學と生と家庭…北澤種一、佐々木博士
博文館

販路多き專賣權分與廣告
長壽養生器(蒸汽作用、ストーブ代用、花瓶保溫用、室內用、消毒用、健康者皮膚呼吸器病者用)
湯沸器(行水用、風呂、炊事、雜用、ストーブ代用)
其他特許品重寶電燈自在器數種何れも朝鮮各道一名限製造販(何れの地にてもなし得)販賣權を分與す福德を得られ度御方は契約案見本品熟覽の上左に出張する本社新谷主事へ御申込至急豫約あらんことを
特許家庭要品製造發賣元 京城府觀水洞廿一番地(水標橋通)元李宮內 東京合資會社 德積商會
社長 工學士 眞水英夫

水原停車場前
優良種子純正苗木販賣 富國園
營業案內進呈 主任 農學士 北澤小八郎

肥前、丹後、周防、見島

露國政府の懇請により賣却すとの說

◎想ひ出は深し堅艦

露國政府の懇請により三十七八年戰役に於て我海軍の捕獲した露國軍艦中戰艦肥前、一等海防艦丹後、同周防、二等海防艦見島の四隻を相當の代價を以て近く露國へ讓り渡すやの說がある右に對し海軍當局は『此話は今更生れたもので無く歐洲戰爭勃發當時から露國政府より內々交涉はあつたが未だ何等具體的に交涉が進んでゐない如何に

◎分捕艦とはいへ

苟も帝國艦籍に名を列ぬる軍艦を他國に讓渡すことは却々重大問題であつて議會の協贊も要し色々難しい手續をしなければならぬ而して若し將來露國政府との交涉が纏り愈々捕獲軍艦中の幾隻かを讓渡すにしても果して前記四隻に決定するか或は他に適當の軍艦を選定さるゝか其邊は全く疑問であつて軍艦の繫留替へは當局の都合に依り時々行はれ之を以て直に想像を逞しうするのは餘りに早計である尙ほ此問題に對し昨日

◎御來朝になつた

露國名代宮殿下には何等御關係が無い事を附言して置く』と全然否認してゐる、併し戰利艦の讓り渡し說は當局の語る通り餘程古くからの懸案であつて今日迄海軍省が堅く秘密に附し內々調査の步を進めてゐたのは事實であるが未だ考慮中であつて具體的の決定を見る迄には尙相當の時日を要するであらう更に此問題に就き一海軍武官は『十年後の今日に於て古い日露海戰當時を回顧し時の敵國たりし露國を彼是言ふ事は餘り好ましくないが此戰役に於て捕獲した露國の軍艦中

◎今尙は我艦籍に

あるのは次の十四隻である而て是を捕獲する迄には我海軍でも多大の犧牲を拂ひ其海軍史の數頁は全く血と淚で彩られてゐる、併し乍ら是等は既に遠い過去に屬し當時の敵國たる露國は今や我國無二の友邦として其利害を均しうして居る、所で露國は先年來國を賭して曠古の大戰に參加し殊に其海軍力に於ては非常な苦境に在るされば此際我國に於ても大に雅量を示し出來得る限り援助して若し交涉さへ纏れば露國の希望を容れ

◎戰利艦の幾隻を

還附するのも或は友邦に對する義務かも知れぬ』とのみ餘り多くを語らなかつた、十四隻の戰利艦は即ち次の如くであるが一說には讓渡艦は見島、沖島、丹波三艦に內定し目下何れも繫留中で其價額は千七百萬圓乃至二千萬圓の程度であると云ふ

▲戰艦肥前　舊名『レトウイザン』排水量一萬二千七百噸▲二等巡洋艦阿蘇　舊名『バーヤン』排水量七千八百噸▲二等巡洋艦宗谷　舊名『ワリヤーグ』排水量六千五百噸▲同上津輕　舊名『パルラダ』排水量六千六百三十噸▲一等海防艦相模　舊名『ペレスウイエット』排水量一萬二千六百七十四噸▲同上周防　舊名『ポビエダ』排水量一萬二千六百七十四噸▲同上石見　舊名『アリヨール』排水量一萬三千五百十六噸▲同上丹後　舊名『ポルタワ』排水量一萬〇九百六十噸▲二等海防艦見島　舊名『セニヤーウイン』排水量四千九百六十噸▲同上沖島　舊名『アプラキシン』排水量四千百二十六噸▲同上松江　舊名『スンガリー』排水量二千五百五十噸▲同上萬洲　舊名『マンチユリア』排水量三千九百十六噸▲同上韓崎　舊名『エカテリノスラブ』排水量一萬五百噸▲同上若宮　舊名『レシントン』排水量五千八百九十噸（東京）

▲支那軍需公債の抽籤　八厘軍需公債還本の期に至りたるも時局の財政狀態にては能く之を實行し得るや否や疑ふ者多かりしが財政部は內國公債の信用維持の爲め必要とし先日中央公園にて抽籤を實行せり園內各處には種々裝飾を施し天氣晴朗なりしが爲めに相應の人出ありき寫眞は其抽籤場なり

……就きたる所翌二十一日……を盗み……せ逃走したるが何一物紛失し居らず……有帆船百九十石積三千九……二月十九……牛金老人の熟睡せるに乘じ……作の男……らずと云へば物取强盗にも非ざるべし……汝南洞沖合に碇泊中なりし……名行衛不明にて屆出に依り憲兵隊出動搜査せしも更に不明なりと

京畿道龍仁郡二東面時美里の……を恐喝し同人より數回に亘り金五百七十二圓を詐取したるものなり

……の際は軍資金の內に金三百圓を寄附したる篤志者なるが今回又た本月十五日德山町……北布教所の營維持費として金百圓を寄附したる

▲交通兵團長の井上中將の談に奉天に居る日本人は露西亞化して終つて不可ぬ室內はペチカだのスチームだので恰で蒸籠の中にでも居る樣だあれでは骨の髓まで蒸されて終ふ▲それで今少し支那人と競爭する氣で働けば好いのだが何にもせずに大變高い者に成つた心算で支那人を與つ先で追ひ使つて酒ばかり呑んで遊んで居る▲一體日本人は燒死の家の中に這入つてペチカやスチームで溫たまつて居るのは宜しく無い何處までも障子一重の日本建に堪へ得る位の處が好い北國に日本人の强味が有るのだ▲下手に支那かぶれをして防寒服だ手袋だ靴だと云つて居るから身體や手足の皮が薄く成つて了つて面の皮ばかり厚く成つて困つたものだ▲若い者が以前歐洲に行つて居た頃は幾ら寒いでも大毯で身體を包んでゐたが近頃行つた時は打つて變つて薄衣主義で子供なぞは素足の者も多かつた帽子なども前へ垂下げて被らない一體帽子は昔は無かつた二尺五寸手拭で頰被をした額も手も足も拭へば又帽子にもなる大變な簡易主義である▲昔の武士は雪の中を素足で步いたものだ▲日本人は薙刀草履で殿の御供をしたものだ雪の中を袴の股立高く取つて空ッ脛に素足で凍傷を受けぬ限りは押し通す位の勇氣で無くちや不可ぬ朝鮮人を眞似て溫突の中に潜げ込んで居るなども甚だ宜しくない

電話開通　一八五七番
京城長谷川町　朝鮮煙草株式會社　京城販賣所
新製品日附三十二本入五錢　須磨　明石　景品附大賣出し

◎病少年を燻べ殺せる兇漢

京畿道水原警察署に於て二月十四日不敵なる曲者を逮捕したり此奴は水原郡水原面山樓里無職鄭大鉉（三七）と云ふ者にて取調の結果同人は大正四年二月十四日高陽郡碧蹄面大慈里鄭栗食方に立越し同人の妻黃氏の連子李鍾泰（二）が長く患ひ居るを見て治療し遣るべしと稱し同人を裸體となし繩にて制縛し桝の上に坐らせ布團を以て頭部より覆ひ而して水銀其他の劇藥を以て同人を燻らし遂に死に至らしめたり尙同年十二月十八日には京城天然洞百十二番地趙以强（四二）に對し梅毒に効驗ある藥品なりと名稱不明の藥品を金五圓にて密賣したるものにて此他に同人は例の古い手を以て大正三年八月以降大正四年十月頃迄に金員を提供せざれば殺害すべし或は放火すべしなど脅し文句を並べ或は書面を郵送して恐喝し

泌尿器病專門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔疾　皮膚病
入院隨意（診察夜九時迄）
永樂町二丁目　金光教會隣り　安部醫院　電話四一九番

△赤貝付燒　赤貝を殼から取り出して二つに切りさかなの樣に上手に開きよく洗つて金串を刺し醬油をかけて火にかざし醬油を燒き一度醬油をかけてあぶり串を拔いて皿に盛り粉山椒を振りかけ供します△牛肉テリ燒　牛のひれ肉を三十目程の切身へ金串三本打ち强い火にかざし餘り燒け過ぬ樣に兩面を燒き醬油と味淋を混ぜた（味淋一、醬油三）三回程かけては燒き金串を拔いて適宜に薄く切り殘りの附け汁を火にかけ煮詰めて蘿蔔下ろし水溶きのくずを入れどろどろにし又ちよつと火にかけたのを刷毛で肉の上一面に塗り附けて出します

商況

債券現物特電　[illegible]

公債直取引（前日との比較）　[illegible]

深川在米特電　[illegible]

東京期米特電　[illegible]

大阪株式特電　[illegible]

大阪三品特電　[illegible]

大阪期米特電　[illegible]

雜報　[illegible]

◎株式界の氣迷ひ　[illegible]

◎硝石益々奔騰　新高値二百四十圓

工業の進運に連れて硝酸の需要激增したると共に其原料硝石の需要も亦激增し近頃目覺しき騰貴を示せるが東京方面にては特に纏まりたる買進み……新高値二百四十圓を唱へ……

硝酸原料として未だ騰貴の餘地

◎米鮮眼先持合乎

仁川の二十一圓內輸京城の二十二圓處

輸出相當に有り　支那臺灣方面

元山鮮不漁

◎帽子は好況　製品一割高

林投代用　殊に冬帽

內地向は意外鈍

品不足　鳥打帽約三割方暴騰

◎明太魚益々好況

◎漆器類の近況　三十錢高

下關相場

京城正米

南大門の廻米

仁川穀物市場

仁川期米　二十四日前場　電六十二節七十四錢高の入　三節六十六錢安

大阪六節六十六錢引返

市場零聞

▲前場新安値

▲賣物顯はる　投げ新規に

▲五十臺の新安値

▲前場の手振り

仁川米豆取引所　廿四日の四月限

北濱だより

▲尼崎紡績株

▲明治製煉株

利　仲買店

▲再び中先問題

硬軍は依然中限

向ひ買聲を發し

目先は賣り乘

逆鞘に在る先限

埋外の埋に走り居る

硬軟共に斯く

▲前場小變動

然軟派賣硬派買に　中限は依

㋮　雅賀　仁川海岸町　迅速

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三番

黃金館　電話二六三七

浪花館　明治町　電話二六〇番

壽館

佐久良座　新龍山

黃金館の大飛行　米國大冒險家チヤーレスナイルス氏　二月二十五、二十六日大阪城東練兵場に於ける空前の大壯舉

◎婦女界（三月號）

銀行會社　事務員養成講義錄

無双醇良清酒　有薰　衛生無害　品質無双　首藤合名會社吟造
精白米卸小賣　キリンビール　サッポロビール　醬油　總甲萬　各種　三矢布引サイダー　各種
朝鮮發賣元　首藤京城支店　賣金所（電話一一七一番）

板硝子直輸入商　相馬表御一報次第御伺仕候　釜山本町一丁目　村上商店

最上醬油　京城本町三丁目　田中支店釀造　電話七六四番

體育保全の營養新劑　フェロールを飲めば　病人は力附き虛弱者は健康に健康者は益々强壯に病を知らぬ人となる
昔は保命酒、明治時代に衛祈酒、大正の今日はフェロール也　其美味は何人も喜び弱者の見舞に適し酒精分少もなき滋養食品なり
大瓶　小瓶
創業元　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛
代理店　京城南大門通　釜山辨天町　元山港

貯蓄預金　元金百圓ニ付日步壹錢四厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店
同　龍山出張所
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

越後大評定

第百四十席　早川貞水口演

植木屋金五郎實は瀧口三郎兵衛

そこで瀧口三郎兵衛は、植木屋六兵衛の手紙を貰ひ、大紋附の半纏、腹掛、股引と云ふ姿で、少しばかりの手道具を風呂敷へ包み、之れを首つ玉へ結び付けた、馬子にも衣裳、髪形と云つて、水戸家に於て八百石の瀧口三郎兵衛も、何人が見ても植木屋としか見えないやうに化け、故と炎天に笠も冠らず、越後●高田を指して出立する道中夜を日に継いで行く程に日ならずして、越後の高田關田町へと著しました、來て見ると成程喜平治の家目は大したもので六兵衛の話しに優した勢で御坐いますから是は好い仕合せと臺所の方へ廻り 三『ヘイ御頼み申します』職人が出て來て ○『ヘエ入來つしやい、何方から來さつした 三『關田町の喜平治さんと云ふ植木屋の親方は此方で ○『ヘエ、喜平治の宅は此方で御坐いますが、貴方は何方から來さつした 三『私は江戸の白山御殿下の植木屋六兵衛から手紙を貰らつて來ましたので、先代團子坂の丑右衛門の伜金五郎と申す者で、幼少い時に親方に御目にかゝつたことも御坐います、金五郎と云へば、親方も御存知で御坐いませう ○『さうかへ少し待つて居さつしやい』奥へ來て ○『親方 喜『何事だ ○『江戸から若い衆が來て江戸の白山御殿下の六兵衛さんの所から手紙を貰らつて來たんで、先代團子坂の丑右衛門の伜金五郎と云ふ人ださうです、親方心當りが御坐いますか 喜『ムさうか、そりや懐かしい植木屋六兵衛さんとは昔友達、丑右衛門さんも昔友達、先方は親方、此方は三下の野郎でも、遊びに行くと鐵今日は芝居へ行かうと鐵何處へ一緒に行かうと、萬事に眼を掛けて下すつた、其マア息子が六兵衛さんから手紙を貰つて來たと云ふのは、昔を思ひ出して此くらゐ嬉しいとはない、ドレ己れが往つて會はう』喜平治自分で出て來て 喜『あの丑右衛門さんの伜金五郎さんと云ふのは御前さん 三『ヘエ親方で御坐いますか……幼少時に御目に掛り溥す〲親方の顔を覺えて居りますが、判然と解りません、此度六兵衛さんの所から手紙を貰つて來たのは、實は昔谷の不動樣の御祭で、一度潰れた眼が癒つたから、其御禮詣りに行くと云ふことを、白山御殿下の親方に話した所、其ちや今關田町の喜平治と云ふ親方が盛んに行つて居るから其處へ手紙を附けてやる、序に立寄つて來いと云はれますから、それぢや親方の所で二三箇月遊んで其から昔谷の不動樣へ御詣をして新潟を見物して歸りに彌光寺樣へも參詣しようと思つて出で來ました、加之に一つは、私も道樂をして兄貴から出入りを止められたのを、六兵衛さんが氣の毒に思ひ、此方へ手紙を附けて下すつた次第で御坐いますから何分宜しく願ひます 喜『宜いとも宜いとも御前が尋ねて來てくれたので、何の位私は嬉しいか知れない、最う二月が三月でも一年が二年でも成らう事なら、此方へ苦勞を持つてくれゝば僞よい、田舍の職人は碌な事は出來ない、御前の樣な江戸の職人が居りや私も安心だ 三『それぢや何も出來ませぬが當分御厄介を願ひます』

お聞きなさい

▲新記録の裁縫競爭 兵庫縣婦人會主催の各女學校生徒裁縫競技會の成績は小紋縮緬羽織(四時間五十七分)男大島羽織(三時間五十七分)女お召羽織(四時間廿四分)女銘仙羽織(四時間卅九分)小倉袴(三時間四十五分)といふ新記録を作つたが尚此外に紬見つゆ子と云ふは縞模樣を七時間十五分に仕上げ審査員を驚嘆せしめた

▲汽車の賊は監視官 昨年十一月以來東京神戸間の急行列車内で旅客手荷物中の衣類反物が頻々紛失するので捜査中の處東部鐵道管理局東京驛小荷物監視掛雨宮倫珍(三九)の犯行と知れて十七日逮捕された同人は鞄の合鍵六十餘個を所持し列車中で車掌の眼を偸み東京神戸間一往復に五六點宛を盗み贓品は自宅の天井裏に隱匿して居た

▲螺旋が頭に來たぞ 近頃むやみに景氣のいゝやうな事を云つたり嬉しがらせる人に向つて『オイ〱氣を付けろ、螺旋が頭に來たぞ』と皮肉るのが流行するそれは野口英世博士の置土産から出たもので博士の說によると梅毒の黴菌は螺旋狀を爲して次第〱に頭に上つてくるさうだそして頭のてつぺんに來ると歡喜の絕頂に達して世間の事が面白くなり何事も愉快になるさうだ但しさうなるとバッタリ死んで了ふさうだ言ひ換ゆれば愉快の製玉は即ち死の提だ

二月廿六日九星

舊正月廿三日癸巳　本命九紫南平大安

▲九紫● 出しおしみの事有日新事見合內方は吉 暗餅南▲一白● 浮氣の事有日新事手控衛承は吉 一切の賭事を禁ず▲二黑● 取柄多き日轉居入學食件求職探し名弘婚姻定期取引等皆吉▲三碧● 聞く納ろ日轉居開業入門名弘求職金件縁組等子女を迎ろ等皆吉▲四綠● 不圖善を施して大に徳を得ろ事有萬事で吉殊に慈善事業を計ろに妙▲五黃● 新規の日轉居入學容者迎で吉女子の獨立殊を好むろに好待人來▲六白● 一寸一杯ははんさす新事手始の事は高價物に用心せらるべし▲七赤● 貯込の事の事有日新事手控差事は吉新事引は用心の事▲八白● 力を増す日轉居縁行入學名弘求職棟上戯證士に納貨物萬吉

▲廣告▼

てんかん
病で時々ヒキツケ種々の手當も効なく困難の方切手三錢送れ永年の病も自宅にて人知れず秘密になほす最善の良藥をお知らせ致し升
●名古屋市中區南小川町 救生舘

酒煙草きらいになる薬
禁酒丸‖禁煙液
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券貳錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈
本舗 大阪市樋南通二 森田商店

約百圓の資本にて一箇月五百圓純益ある活動寫眞興行が手輕に出來る新案登錄器械
委細說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町 振替東京一六六八八 大澤商會

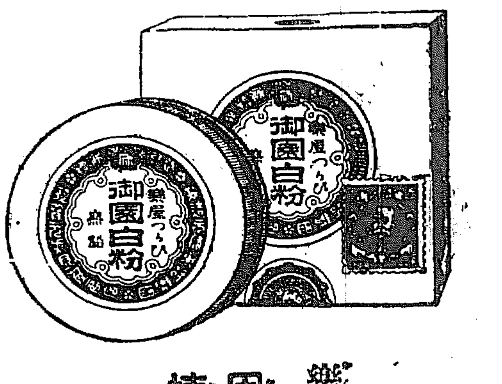
胃病新薬マーゲン
特約店 京城南大門通二 新井藥房
大阪本町五丁目上 田畑保健藥房

朝鮮總督府警務總監部御檢定濟
花柳病專門藥
本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用とに依り驅梅治淋に最も卓效を有する諸種の新藥を主劑とし健胃の良劑を極めて合理的に配合調劑したるを以て花柳病疾患に服用し安全に治療の目的を達し得る最新良藥なり
一週間分 梅毒通金壹圓廿錢 特製金貳圓 痳毒通金貳圓 特製金貳圓五拾錢
製劑本舗 東京澁谷 東京ドラッグ商會
京城永樂町二丁目 東京ドラッグ商會 鮮滿本部

ひぜん
芳香ひぜん水
大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 振替大阪二八八番
各藥店に販賣す

陰萎病並に神經衰弱に大効あり
滋腎 田春丸
一週間分 金七十五錢 三週間分 金貳圓也 郵税各二錢
東京銀座 振替東京四七七番 岸田吟香

三月號
東京高等師範學校教授 同附屬小學校主事 佐々木吉三郎先生贊助
教育畫報 新幼年
東京美術學校出身 森田但山畫伯主筆
本號附錄『ツバメ』の折紙は、子供の工夫力を養ひ、手工敎育となり、出來上りては體育的遊戲として最も興味あり他に比類なき壯快なる新案飛行玩具なり
御注意 幼年雜誌多し御求めの節は佐々木先生贊助に御注意を乞ふ
毎月一回發行 定價十錢 送料一錢 前金六ヶ月共六十錢一ヶ年一圓二十錢郵券一割増
發行所 東京兩國 新幼年社 全國賣捌書店
振替東京三二〇八六番 電話本所三一〇六



藥屋づかい
固煉 御園白粉(みそのおしろい)
金四十錢 金七十錢
薄白粉の薄いのは卑しく見ゑます、御園固煉白粉をお用ひになるとのびもよく思ふ樣に濃くつきますから、お顏が薄化粧でもくつきりと鮮かな化粧が出來ます。
固煉御園白粉はごき水御園の露で思ふ樣に薄く溶きのばす事が出來ますし、重ねて塗つても斑になりませんから薄化粧用としても使ひ慣れゝば誠に重寶な品です
本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(66)

期米
取引確實 秋容嚴守
定期米賣買之栞無代進呈 前金注文は紹介を要せず
大阪市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人
株式 入江商店
電話北四六六五五 二一〇

滿洲五龍背溫泉
安奉沿線五龍背驛を距る二丁
閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
風光絕佳にして一大樂園地なり
諸病に特効あり理想的療養場なり
宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

長男辰男儀葬送之際は遠路御會葬被成下候段乍略儀以紙上有難御禮申上候
二月二十四日
父 山口謙男
親戚友人總代

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸 三月廿一日 正午出帆
相模丸 三月三日 正午出帆
高砂丸 三月十二日 正午出帆
仁川港町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
(所定航路の外臨時寄港の時は五分引を以て運賃切符發賣仕候)
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
宮島丸 二月廿六日
吉辰丸 二月 日
天智丸 二月廿八日 午後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行(△は巖原鎮海の諸に寄港)
天佑丸 二月廿五日 午後二時出帆
城津丸 三月三日
○大連行
天佑丸 二月 日
城津丸 二月廿八日 正午出帆
◉木浦、關門、神戸、大阪行
溫州丸 二月 日 後五時出帆
○群山、釜山、横濱行
潮州丸 二月廿八日
濟州丸 二月 日 午後四時出帆
○大連直行
須磨丸 二月 日
チヨイサン丸 二月廿六日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆)
大智丸 二月 日
臺北丸 二月廿八日 午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 二月廿五日
基隆丸 二月十 日 午前十時出帆
仁川代理店 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇〇五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八
中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間一割引より五割引迄を以て通路乘船券發賣仕候

『坊やは此歯磨で朝も晩も、御飯の後も乾度、斯うして歯を磨きます』と自慢して見せるお子樣は、丸丸と太つて御丈夫で、何時でもニコニコして御在います。
ライオン歯磨を
ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎

第三[illegible]號
京城日報

金融機關

京城日報

我帝國政府は、日支銀行滿洲銀行等を設置するの方針を定め、其議案を帝國議會に提出して協贊を求めたり。我政府當局者が、支那に於ける諸經營の爲めに、金融機關を設くるの必要を認めたるは、甚だ稱すべく吾人も亦其方針政策を熱心に贊成するものなり、併しながら其の取るところの業務要領に就ては、吾人亦自ら見る所ありて存す。

由來新領土又は外國に於て、作爲すべき機關の効用は、其名にあらずして其實にあり、其實にして行はる可くむば、寧ろ其名を避くるも可なり、其實を許期すべからずして、徒らに空名を稱するが如きは甚だ無益の業たるのみならず、他人の嫉妬猜忌を招き若くは、世間の物議を醸して已まむとす、支那に於ける利權に關する事柄に就て、最も其の然るを見る可きなり、此邊の事は我本土の外交家財政家共に、十分の經驗を有する所なる可く、吾人は其の必ずや相當の注意を致したるを信ぜむと欲す。

今日世人の共に知るごとく、新領土若くば外國にて働く可き金融機關に、二種の要務あり、其一は爲替割引及び預金業の取扱にて、即ち是れ普通銀行の業務なり其二は土地又は工業財產に對して投資し、資本金又は起債金を以て其財源と爲すものにして、即ち是れ拓殖會社の業務なり、今や我正金銀行は、支那に於ける普通銀行の業務に就て重要なる地位に立ち、其行績亦甚だ見るべきものあり、臺灣銀行の南支那に於ける勢力、亦歲月と共に增進するの實あり、其他二三普通銀行、亦これと相追隨するものなきにあらず、獨り其拓殖會社的業務に至りては、今殆と其設備を缺く、是れ我政府當局者の日支滿兩銀行を以て、之を補はむとするものなるべきか。

併しながら、拓殖的金融は、銀行としては其本然の業にあらず、且其任務の統治政策と相伴ひ、及び公益を主とするの必要あるや、母國政府これが保障を爲さゞる可らざるのみならず、其行動するところの、地方政廳又は中央政府の制令の下に立たざるべからず、就中農業金融を事とするものは、時に自ら地主となり、農業經營者たらざるべからざることあり工業金融を事とするものは、時に自ら其作業に干與し、資本器械勞力に至る迄關渉することなきを得ず、是れ埃及アルゼリヤ、摩洛哥諸地に於ける英佛諸銀行が、數ば縮沓を嘗めたる所にして、今後支那蒙古滿洲諸地に於ける、拓殖的金融に從事するもの、亦豫じめ其覺悟なかるべからず我本土財政家は、專ら其資本金の多寡に依りて、其成敗を卜せむとするが如くなれども、豈必ずしも資本のみと云はむや、此種金融機關に最も重大なる要件は、其の土地事業に對する智識及び能力如何にありて存し、吾人が常に我東洋拓殖會社をして、其業務を擴張せしむべしと爲すの理由亦此に存す。

財界時言（二月二十四日）

連絡運賃の存廢

○鐵道院、朝鮮鐵道局並に滿鐵會社の協定にて先年低減實施せられたる三線連絡運賃は將に其期間を終らんとす。而して更に此連絡運賃制が將來に繼續せらるべきや、但し又撤廢せらるべきや。吾人は滿鐵の意嚮は別とし、他の當局者は恐らく低減運賃制の持續を希望するものと信ず。

○連絡運賃の低減は安東縣に於ける國境關稅三分一減と相俟つて棉絲布類の滿洲への輸送通路を朝鮮經由線に變更せしめ、爲めに大連港をして徒に寂寞を感ぜしめたるは明かなる事實也。されば之れが實施以來大連方面にては其繁榮を維持するが爲めに該連絡運賃制を呪咀すること甚しく、今や其の期間も三月末を以て盡きんとするに際し、斷然之れが撤廢せられんことを[illegible]運動に着手せらるゝを見る。

○吾人は大連人士の實情に對しては充分の同情を有するもの也。大連の繁榮發展は吾人の祈念する所たり。さり乍ら此の連絡運賃問題に關しては切に大連人士の考慮を促さゞるを得ず。何となれば、吾人は單に大連の繁榮に對する影響の大小、結果の良否あるが爲めに大局を枉ぐる能はざるなり。吾人は滿洲といふ一の經濟地域を思ふに急にして未だ奉天と云ひ大連と云ふ一部分の利害を思ふの遑なし。されば、若し該運賃制が制度として經濟上の弊害あるか、但しは又滿洲の經濟的發展の上に惡影響を與ふるか、何れにしても果して其の存續が大局に不利益なるの事實を認むるに於ては、吾人何ぞ復養道に之れが存續を固持せんや。大連人士を俟たずして吾人は之が撤廢を叫ぶに吝ならざる也。

○滿鮮の經濟的統一は吾人年生の持論たり。朝鮮には朝鮮の經營あり、滿洲には滿洲の政策あり、他の容喙を許さずと謂ふが如き、狹量なる地方的偏見の爲めに、帝國の大陸發展に累を及ぼすが如きは、甚だ不可とし、吾人之を排す。希くば大局より打算して滿鮮の利害を一致せしめよ

京城雜筆

山縣生

▲今は日進月歩の世の中にして、如何なる人も油斷なく向上進歩に志ざゞるに於ては失敗者となり、落後者となるを免れず。昔ては世に時めき名聲共に高かりし人にして、今は猶ほ生き居れるや死せるや分明ならざる人少なからず。これ等の人々が、かく憐れなる境遇に陷りしもの、種々の源因あらんも、多くは修養を怠りしに因らずんばあらず。

▲これに反して、毫も世の進歩に遲るゝなく、常に其先頭に立ちて、克く其名聲と位地とを維ぎ、齡は之を加ふれど、却て益々世の推重を享けつゝある人もあり。大隈老伯の如きは其代表者ともいふべき人、伯が頽齡にして猶ほ克く今日の位地を保有するは、其家を訪ふの客絕えず、伯は殆ど其何人たるを問はずして之に接し、之と語り、彼等より絕えず新知識を得て、直に是を我物となすに因る多しと思はる。換言すれば伯は客に接する事によりて、絕えず修養し、依りて時世に遲れざる也。

▲多くの人は伯の如く多數の客に接する機會を有せず、客來ることあるも多くは平凡の者にして、これより格別に新智識を得るに由なし。こゝに於て修養を積まんが爲めには、書を讀み、若くは講演を聞かざるべからず。東京の如き學問の淵叢たる地に於ては、學者專門家の講演を聞き得る機會は多けれど、我京城に於ては斯る機會を得ること少なし。こゝに於てか、修養は最も多く之を讀書に求めざるべからず。

▲讀書は折に觸れて頗る愉快なる業なれど、多くの人にとりては愉快なるよりは寧ろ辛勞なるが如し。記者が京城に於て知る所の人の中には、餘りに多くの讀書家を看出さゞる也。

▲人は弱き者なり。讀書とは知りながら、之を爲すに多少の苦勞伴ふ時は進んで之を行ふの勇氣起らず。然れども規約を設けて、衆と共にする時は、多少其爲めに强いられて、之を行ふを得。志を同うする人々が會を設立して、協同事に當るは、此意味あるが故也。

▲總督府の職員諸君は今回研修會なるものを創立し、毎週一回相會して講演を聽き、以て研究修養に資する所あらんといふ。修養の機會乏しき京城に於ては、殊に必要なる美擧と言ふべく、各地方に於ても此例に倣ひて同樣の會の設立さるゝことを望ましけれ。

▲東京の如き大都會に於ては學問、技術、人格等の點に於て、上に上があるが故に、人は常にこれに刺激され、勵まされて向上進歩の志を失はざれど、京城其他地方の小社會に於ては、人は無鳥郷の蝙蝠となり易く、自己の學德の足らざるを心付きながらも、周圍に蠢動する群小の儕れむべきを見て、いつしか天狗となり、得意となり、進歩こゝに停るの患あり、久しく殖民地に生活したる人の、母國に歸りて後志を得ざる者の多きは、かゝる狀態の下に修養を怠りたるが爲めならずんばあらず。

▲京城には幸に總督府內の讀書會あり、民間には經濟會ありしが、近來いづれも消滅したるが如し。此際研修會の起りしは誠に慶賀すべく、其永續して會員諸君が相共に久しく其利益を享けらるゝを祈る。

廿五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]　印刷人　[illegible]
發行所　京城日報社　京城太平通一丁目
電話　[illegible]

大阪財界通信

△大阪支鮮貿易　本月中旬の大阪港對朝鮮及び支那移出入貿易は移出品價六十五萬五千三百十七圓移入品價三十六萬六千六百八十七圓にして差引出超二十八萬八千六百三十圓を示し之にて一月以降の入超累計百九十三萬四千五百四十六圓に減じたる勘定なり

△大阪外國貿易　本月中旬の大阪港貿易は輸出品價四百八十四萬九千三十圓輸入品價百八十八萬六百七十三圓にて差引出超三百九十六萬八千四百五十七圓を示し之にて一月以降の出超累計七百六十五萬四千十七圓に達せる勘定也

△出鉛トラスト　內地に於て出鉛を製造するものは[illegible]亞鉛鍍金等にて其製額は到底[illegible]要者の希望を充す能はず時價大に騰貴し其間自然販賣上に種々の事情もある由にて如上出鉛業者は先づトラ[illegible]般の條件を決議すべく目下當業者協議中なり

△滿俺鑛山發見　京都府何鹿郡山家村字和木梅原榮三郎の今回發見にかゝる同郡同村字七五三谷の滿俺は其品質最も有望との或る鑑定家の意見にて目下大阪鑛務所へ申請し其許可を急ぎつゝあるよし今日迄の豫定にては二萬坪に渡る大鑛區にて許可の上は直に採掘に取掛る可し

△日貨排斥解約　油頭棉布組合は日貨排斥規約を舊正月二十日限り廢止する旨決議したり棉布は二十手迄の太物は排斥規約に拘らず相搦次第にて取引せらるゝ見込なり尙ほ一般支那人の對日感情は極めて良好なりと

△臺灣航路復活　從來臺灣航路は日本郵船大阪商船兩社にて合計六隻なりしが最近船腹不足の結果一隻を横濱方面に廻航せしため同方面の貨物滯積を來たすのみか昨今桝の積込漲滿せしため忽ち船腹の不足を生じ商業者側より兩汽船會社に々交涉ありたるを以て兩汽船會社にては大に諒とし近々協定の上一隻を廻航せしめ同航路の復活を圖るべし

△石油値上反響　內外石油の四會社は又々二十五錢値上を發表したるは既報の如くなるが目下需要期を經過し尙ほ四、五、六月の不需要期の不振の傾向あり加ふるに[illegible]決濟[illegible]則ち[illegible]へ投資なすものあるべしと觀測するものあり（大阪支局發）

燈臺の話　5

G・O生

（四）西洋燈臺の歷史

[illegible]

鏡が發明されて光を反射すること

[illegible]せられたアルガンド燈（之は[illegible]圓筒形の火焰を出す）[illegible]「ランプ」と「トイレール」といふ人の[illegible]反射鏡とを燈臺の[illegible]に採用した爲めに[illegible]

植物線狀態

[illegible]

京日詩壇

○丙辰新年次松田學鷗韻　徐相勛

新時宇宙灑吾胸、久許韓雲逐孟龍、把椒楷成根望、故人佳處隔遙峰、

評曰　信手拈來情思深切。

○丙辰新年　宮澤陶川

情恒叉手義君臣、千古綸言在紳、日暖々騰將上處、遙呼萬歲卽王春。

評曰　自然發衍、能沾人脾。

○自題歲寒三淸圖贈鍋島石[illegible]田詞盟　草場金臺

老松何古高、橫斜梅殿枝、補以竹猗々、同是歲寒姿、工夫撫吟髭、詩畫欲奇誰、石翁知我癡、宿囑今容辭、執筆腰遲疑、三日忘勞疲、圖成且貽之、此意人不知、相對永相思、揖拔君莫嗤。

評曰　詩格淨潔高雅、足想見畫格人格、此三格亦可以比歲寒三淸也、我聞、君祖佩川先生、稱大儒宗、而餘技畫蘭竹書、曾受業於崎陽江越繡浦云、繡浦則熊斐之從子、於沈南蘋畫法得妙者、盖君畫亦出于此者歟、

○草場金臺畫歲寒三淸圖見贈次其題詩韻却呈云爾　成田魯石

溪壑一淸奇、幽棲老松枝、寒翁讃而猶、梅花榮生姿、對圖合摯誰、已恰玩物癡、叉添幼婦辭、欣鼎欲作誰、鄉絕黍祖疑、神氣欲疲、縱筆所之、深感故人知、永懸芷蘭思、做癡萬當嗤、骨無報瓊詩、

評曰　揮筆淋漓、如雲容水態、不可限以方圓、結處殊妙、

仁川米豆取引所

▲二十四日後場　[illegible]

▲廿限の活躍　[illegible]千四、五百石[illegible]二千一、二百石[illegible]各千[illegible]で前は小口賣買であつた

▲後場小堅し　[illegible]斯る作戰的商内行はれるならん[illegible]

[illegible]

擶（安値）（高値）　出來高　一萬四千六百石

三月限　[illegible]　四月限　四萬六千二百石

●解警（三月廿四日午前十時三十分仁川測候所）　南部及び中部の警戒を解く

東亞煙草飛躍記念

京城、仁川兩市に限れる
最も趣味ある景品附賣出し

賣出品　◆朝日　◆ダリヤ（各一ボールに付景品券壹枚）　◆水府　◆薩摩　◆さつき　◆福壽草　◆白梅　◆あやめ　各二袋に付景品券壹枚

■賣出期間　二月廿五日より三月十五日まで

■景品種目
▲壹等　白米（四斗入）一俵、柱時計　二枚續き毛布　二十五本
▲貳等　朝日一ボール、玩具　百二十五本
▲參等　牡丹臺一ボール組合文具　二百五十本
▲四等　八千代一包、タオル　千二百五十本
▲五等　ハネビー煙　數萬本
△一本も空籤なし

■抽籤期日　三月廿日京城商業會議所
■景品引換　三月廿三日より四月十日まで

◎景品引換所
京城黄金町　煙草組合
仁川新町　煙草組合

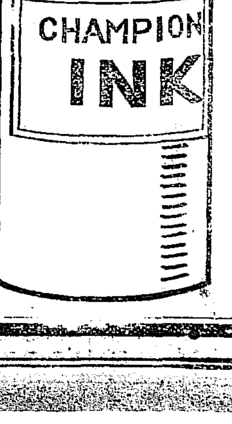
御注意
今回は實用品たる刻を加へ然かも賣出數極少數に付賣切れざる內に御註文被成下度尙所在御賣店に景品券なき節は下記兩賣捌店へ直接御用命願上候

大正五年二月

東亞煙草株式會社元賣捌所
京城官煙組合
仁川官煙組合

第七　歐洲大戰寫眞畫報
▲寫眞　最も精撰せる珍品　四十餘頁（三色版二色版其他）
▼記事　戰局の全般に亙り本誌獨特の活文字を滿載
歐洲戰爭實記增刊（二月十五日發行）定價廿五錢（郵税二錢）
東京本町　博文館

値上
大勢なり不本意ながら御承諾を願ひます
チャムピオンインキ
ライトインキ
アカデミーインキ
大阪市東區平野町
關西發賣元　福井商店



第三十七回帝國議會

衆議院(二十四日)

▲東拓案問答

東拓法中改正案委員會は二十四日午前十一時開會小西和氏(中正)は朝鮮移民が毎年僅に一千戶位に過ぎざるは移民政策の前途洵に寒心に堪へず更に未墾地開拓の意なきやと質し兒玉政府委員移民を急激に增加せしむるは募集上困難なるに依る又從來熟田の買收に努めたるが今後は未開墾地の開拓に志す方針なりと答へ次で小西氏政府自ら移民事業を經營するの意なきやと問ひ之に對し兒玉政府委員は民間事業に對しては成る可く之を避けたき考なりと答へ小西氏會社の利益が年々拾萬圓に過ぎざるは政府の補給に關する條文を惡用し殊更に收入を減じ補給を得んとする手段ならずやと問ひ兒玉政府委員會社の事業中農業金融は利益を見るも移民事業は未だ利益を見るに至らず又未開墾地調査其他の事業は中途にあるを以て充分の利益を見るに至らず會社が惡意を以て收入を減ずるが如きことなしと答へ小西氏は東拓の不成績に鑑み之れを解散し朝鮮拓殖銀行を設立し勸業の奬勵を圖りては如何と問ひたるに對し兒玉政府委員は今回の改正案に於て事業と金融とを分離し勸業資金の供給を裕かならしめたるは卽ち質問の趣旨に應ずるものなり政府は會社を解散する意思なしと答へ次で會社持株其他に就て村松山壽氏(同志)と兒玉政府委員との間に問答ありて正午散會せり

▲議會終期の不振

會期餘す處僅かに五日議場の振はざる事甚だし衆議院は二十四日午後一時二十分開會諸般の報告後小久保喜七氏(政友)登極令違反に關する大隈首相の答辯書は要領を得ざるを以て更に出席を要求して日程に入る

●重要物產同業組合法中改正法律案 河野農相の說明ありて委員附託

●明治四年法律第十一號中改正法律案 藤澤參政官の說明ありて委員附託

●關稅定率法中改正法律案 石橋爲之助氏(中正)修正可決の旨を報告し之に對し加藤參政官本案は時局に際し內地產業の發達を圖り輸出を奬勵するにありとて原案維持に努め第二讀會に入り野村嘉六氏(同志)政府委員の說明の如く本案の修正は不都合なりとて原案に贊成し岡崎久次郎氏(同志)政府は本案を以て時局に應ずると云ふも何等時局と交涉なく船舶橋梁建築材料等の關稅を高率にせんとするは決して工業の發達を圖る所以にあらず政府案なるが故に絕對に盲從せざる可らざる理由なし△と大氣焰を吐き白石直治氏(政友)は岡崎說を敷衍して修正說に贊し相島勘次郎氏(國民)更に修正說を提出し次で田村新吉氏(公友)原案贊成を主張し討論終結採決の結果相島氏の修正は少數にて否決委員長報告に付き起立に闘り議長修正說否決を宣したるも異議ありて記名投票に決し例の堂々廻りを始め開票の結果總投票數二百廿五可とする者九十一否とする者百二十四にて委員長報告の修正說は少數にて否決續ひて第三讀會を開き可決確定

●朝鮮の生產に係る生果核子、及銅の移入に關する法律案 早川龍介氏(同志)の報告ありて可決確定

●證券を以てする歲入納付に關する法律案 鈴木寅彥氏(同志)の報告ありて報告通り可決

●理化學を研究する公益法人の國庫補助に關する法律案 守屋此助氏(同志)の報告あり鈴木梅四郎氏(國民)の修正意見ありたるも採決の結果委員長報告通り可決確定

●大正三年度特別會計豫備金支出の件
●大正三年度豫備金支出の件
●大正三年度臨時事件豫備金支出の件
●大正三年度帝國鐵道積立金支出の件

を一括して江間俊一氏(同志)何れも承諾を與ふる事に決したる旨を報告し可決

●司法代書人法案 加藤彰廉氏(公友)の說明ありて委員附託

●郡制中改正法律案 横山金太郎氏(中正)の說明ありて委員附託此の時福田又一氏(同志)の動議にて日程を變更し

●鐵道敷設法中改正法律案 守屋此助氏(國民)岩手縣黑澤尻又は花卷より秋田縣橫手に至る輕便鐵道敷設案可決の旨を報告し小林源藏氏(政友)は鐵道院は本案に對し故に急遽鐵道會議を召集したる理由如何と質したるに添田總裁は本案は重大事項なるのみならず法律改正の結果工事著手の關係上鐵道會議を召集せりと答へ尙小林氏の質問に次で總裁の答辯あり次で秦豐助氏(政友)の委員長報告反對望月圭介氏(政友)長尾元太郎氏(同志)の贊成あり採決の結果委員長報告通り可決次で三輪市太郎氏(政友)議事の進行に就き發言を求め委員會の議事進行に關し希望するところあり

●兵役稅案●戰病者遺族軍人家族救護法案 右一括して矢島八郎氏(政友)は兩案とも修正可決せりと報告し川崎克氏(中正)は本案は重要案なるを以て議決を延期す可しと述べ次で樋口秀雄氏(同志)の委員長報告贊成意見あり小橋藻三衞氏(國民)政府の本案に對する誠意なき態度を批難し委員長報告に贊成し高田耘平氏(公友)川崎克氏の贊成あり相島勘次郎氏(國民)は陸軍當局は本日も尙癈兵戰病者遺族救護に反對なりやと質し大限政府委員は何政府としては遺憾乍ら贊成するを得ずと答へ討論終結、先づ川崎氏の延期說を採決したるに少數にて破れ委員長報告通り可決確定次で癈兵戰病者遺族軍人家族救護法案に付き採決の結果多數にて委員長報告通り可決確定此の時小泉又次郎氏(同志)は先刻高田君の發言中政友會の望月圭介君の不穩の言語は議院の體面を保持する爲め取り消されては如何と警告したれども望月君議席に居らず已むなく問題を保留するに決し六時十分散會せり(東京特電)

◎帝政請願者を戒む

帝政實行延期宣布=辭な黎民の苦難に藉る=但し延期々限は不明=

袁總統は二十三日附にて命令を出し帝政延期を宣布せり其の大要は『各文武官、各種團體、國民代表者及び公人の名儀にて速に卽位すべしと乞へも目下雲南貴州亂を作して禍し四川、湖南の人民寢食に安んぜず黎民の心を察せずして强ひて事を行ふは斷じて不可也予は之れを以て意を安んずるを得ざれば暫らく延期す今後は速に卽位せよとの請願をなすを許さず云々』本命令は百八十餘語より成り極めて簡單なるが帝政を何時迄延期するやは言明し居らず(北京特電)

◎將軍府に爆烈彈を投ず

長沙革軍の獨立標榜の別報

日本公使館著電に依れば二十一日湖南長沙にて二十五名の革命黨員將軍府を襲ひ爆烈彈を投じ火災を起したるも官兵之れを擊退し黨員數名を捕縛せりと(北京特電)

◎留學生に說諭電命

北京政府は駐日陸公使に打電し東京留學生の帝政反對團を解散せしめ說諭して若し肯かざる時は相當の處分をなすべしと命令せり(北京特電)

◎獨軍ヴェルダン突破

佛軍其一部を奪還す

倫敦來電獨逸公報に曰く獨軍は更にヴェルダンの北方八百ヤードを突破したることを報じたりヴェルダンは獨軍突擊の目的地なるが如く佛國公報は砲門を敵手に占領せられたるを承認し他の地點は其の一部を奪還したりと云へり(紐育電報)

◎海軍論功行賞

日獨戰役論功行賞第二回(海軍の分)二十四日發表されたり其の重なるものは左の如し(東京特電)

海軍大佐正五位勳三等功四級 岡野富士松
同上 小林惠吉郎
同上從五位勳三等功四級 丸橋彥三郎
叙功三級授金鵄勳章(各通)
海軍大佐從五位勳三等功四級 吉田清風
同上 本田親民
同上 秋澤芳馬
同上 田代愛次郎
同上 坂本重國
同上 和田專太郎
同上 正木義太
小川英雄
海軍中佐正六位勳四等功四級
叙功三級授金鵄勳章授旭日中綬章(各通)
海軍少佐從六位勳四等功四級 竹內正
叙功三級授金鵄勳章授旭日小綬章

◎旅費前渡勅令公布

二十四日勅令第十四號を以て朝鮮臺灣關東州樺太居住者の壯丁にして徵兵旅費支給を受くるにあらざれば出發し能はざるものに對し之れが旅費を前渡しする事を得る旨公布三月一日より施行すと(東京特電)

◎爆藥缺乏と輸入

鑛山火藥中ダイナマイトの缺乏は我朝鮮鑛業界に對し尠なからざる打擊を與へ之れが爲め或地方の鑛業家は一時操業を中止するの已を得ざるに至りしものあり貿易業者は豫て之れを救はんとして英國にダイナマイトの輸入方を申込み居たるが戰時に依る船腹の不足と又一方に於ては諸鑛物暴騰の結果各國鑛業界の勃興とは益々火藥の需要を喚起し我內地にても目下各鑛山は殆ど晝夜全力を傾注して其の產鑛に努むる折柄又最近に於て九州岸和田に有望なるタングステン鑛の發見あり一箇月約二十噸の產額を見る盛況を呈せるあり之れが爲め倘英國より輸入を見ると雖も其の多くは我內地鑛業家の需要に充つるため朝鮮は姑く其の輸入を見る能はざりしに去月下旬漸く仁川タウンゼント商會扱に係るダイナマイト輸入ありしも是は皆外人經營に屬する雲山遂安昌城稷山其他に使用せらるゝものにして內鮮人經營に屬する各鑛山は依然として品拂底に苦みたるが今回漸く三井物產扱のもの一萬箱入港し目下揚陸中なりと今回入津せるダイナマイトは二千箱にして之れを各鑛業家に供給せば僅に本年六月頃迄は堪え得べき豫定なるが價格は十貫目八十圓內外なりと

◎府豫算編成濟

京城府に於ける大正五年度豫算は豫て編成中の處此程漸く編成濟となれるを以て過日京畿道廳に送致し近く道より總督府に提出し認可の指令を得る筈なりと

連絡運賃制の價値

大局の利害より判斷せよ

鐵道局參事 和田駿氏談

最近或る小集の催ほされた時五、六名の人が喧嘩の側で經濟的の花を咲かせた折柄偶々所謂三線連絡運賃割減制問題で大連方面に反對が起つて居る、あれはどうだらうと言ひ出した人があつた、恰度鐵道局の和田參事も居つて種々之れを述べて居た、その一端を茲に摘んで見れば

▲交通路の三要件 日本と歐洲との間の交通路に於て何れの線が最も適當なるものであるか、是れは各方面の關係によつて定めらるべきであるが、要するに速くて廉くて安全なりと云ふ三條件に當て嵌まつたものが自然の通路として勢力を得る譯である、從つて朝鮮鐵道を經由する歐亞交通路は最も右の資格に適つて居ることは今更言ふ迄もない、旅客通路としては既に此の交通路の價値は熟知せられ別に何等の問題も起つて居ないが、貨物の關係に於ては朝鮮經由線の運賃問題などが起つて居る、併し日本內地より朝鮮を經由して滿洲方面に輸送せらるゝ貨物は運賃三割引の特典に與かつて居る故、物に依ては朝鮮鐵道線及び滿鐵安奉線を經由する方が便利なもの、あるは當然の事である、其理由は簡單である、卽ち迅速、低廉、安全といふ三條件が備はつて居るからではないか。

▲何故の反對ぞ 尤も此の割引運賃制實施の當初に於ては安東縣に於ける通關手續の困難其他の故障があつたけれども、間もなく是等の不便は除かれて今日では最も安全確實なる通路たるは世人の均しく之を認むる所である、然るに一方大連方面では此の連絡線に對し故障が唱へられて居る、それは運賃を安くするといふ商人の負擔が掛り損をするといふのである、少々怪しな議論であるが要之從來に於て大連本位で總て計畫されたる事が偶々通路の變更によりて繁榮が奉天に移り大連は間接の地位に居らねばならぬと云ふ不平の如きである、何しろ大連に多大の設備をして來つたのに運賃が安い爲め貨物が朝鮮を通つて大連を通らぬと困るといふ理由のやうだが、併し運賃が安くて損をするのなら、損をしてまで當線に送らんでも從前通り大連に送つたら宜からうではないか。

▲大勢の歸する所 若し自然の徑路に委せたならば貨物は其種類により或は海路に或は陸路に自から通路を別つに至るであらう、例へば低廉な粗製品は多くは船便に、又高價な小量品は多くは鐵道便に廻つて行くべき運命を有する、然るに從前大連では此の貨物輸送上の自然の徑路に區別ある原則に反して總ての貨物を大連に集中したのである、故に大連集中主義に復らんが爲めに、三線連絡運賃制に反對するは理由なき事であらう、然らば結論は全體の利害から考へて明かではないか、一小局部の利害の爲めに大局を犧牲に供することは考へ物だらう、此の問題は主として綿絲綿布の輸送徑路に關する問題である、現在の連絡運賃制は大正二年八月より實施せられ本年三月一杯の期限である、此運賃が割引されて居ると言つた處で別段無理に引下げて因業に貨物を引付けて居るのではなく自然的有利の通路に自然に吸收されて居る譯で、貨物徑路としての朝鮮經由線の價値は自から定まつて居る、

◎學校組合豫算

大正五年度京城學校組合豫算は過般來專ら其の編成中なりしが愈々玆兩三日中を以て全部の終了を告ぐる筈なるが同豫算は各學校に關する備品其他を含む爲め頗る浩瀚のものなりと

◎京畿農事獎勵會

京畿道管內に於ける農事獎勵會出支會數は現在二十箇所ありて會員數四千八百十六人ありと

◎三宅編馬氏入京

遞信省電氣局管理課長三宅編馬氏は廿四日夜入京

▣南言北語▣

梁士詒が段祺瑞を閑居に訪ふた處は聊か劉公が諸葛公を訪問したのに似て居る▲當代の諸葛公羽扇葛巾泗濱に三軍を指揮するの勇ありや否や▲其れに反し阮忠樞が態々南下して馮國璋を討伐軍總司令官に▲張勳を江蘇將軍に口說いた處は蘇秦の古智を學ぶに似て居る▲北京政府は叙州の北軍に懸賞して居るが先づ其の實行の證として瀘州の勳功により▲旅團長熊祥生を二等男爵に同李炳之、吳佩孚を三等男爵に封じたと云ふ▲此の向きでは戰後支那は何れ丈けの華族樣が出來るのか鳥渡見當が付かぬ▲處が妙なもので大きな肩書付の名刺など振り回したがる有難連が多い世の中で▲殊に支那人には多いから之れは大分士氣を皷舞する政策にもならうが▲得手して論功行賞が不都合だなど、蹶鬼組が飛び出す事は受合何うしても北京政府は騷動の製造所だ▲する事が斯う物騷では何うしても手放しては置けぬ▲其うく近所で火事を出されては堪つた譯むやない早く禁治產の宣告でもせねばなるまい▲其れが不可なら速かに帝政を打ち切るが好い▲何に帝政は廢めた、廢めたおやない延期だらう▲而も其の延期は既に處があつたと思つたら二十三日に公表して居るのに何んだかお可笑な延期の命令を出して居る▲皆が勸めるけれどまだ暫くは延期する今後は速に卽位せよなんて請願する事は出來ぬぞ▲と親が小供を叱る樣な權は聊か見えすいて片腹痛い心地がする▲延期は何時迄の延期か暫らくでは矢つ張り分らぬ▲而し此の命令は獨や服を釣る手段臭い處もある▲浮ツかりすると此の臭い處を一杯食はさるゝのだから危ない▲イヤ之れは他事ではないよ

●本日總督府公文添付

賣却廣告

一、見張所外六棟 所在地朝鮮牛耳島
入札保證金各自見積代價ノ百分ノ五以上
右賣却ス買受望ミノモノハ當部建築科又ハ朝鮮全南務安郡黑山面牛耳島禎里金聽玉ニ就キ契約書案入札人心得(現狀ノ說明ハ前記金聽玉ニ就キ)承合ノ上本年三月廿日午前十時限リ當部ヘ入札スベシ當部ニテ開札即時
此契約ハ當部長櫻孝太郎擔任ス
大正五年二月廿五日
佐世保海軍經理部

賣却廣告

一、軍用電信所貳拾參坪 木造平家建 所在地朝鮮八浦
入札保證金各自見積代價ノ百分ノ五以上
右賣却ス買受望ミノモノハ當部建築科又ハ朝鮮全羅南道務安郡荷衣面玉島小笠原吉松ニ就キ契約書案入札人心得(現狀ノ說明ハ前記小笠原吉松ニ就キ)承合ノ上本年三月廿日午前十時限リ當部ヘ入札スベシ當部ニテ開札即時
此契約ハ當部長櫻孝太郎擔任ス
大正五年二月廿五日
佐世保海軍經理部

五段鈴木爲次郎著 和裝雅本 金五十錢 送料四錢
碁 闘中の定石
旭將軍の創定せる中の石は中央の碁石を安全ならしめ且隅の地を完全に保持する方法也何人も本書を熟讀せば六目以上の碁素に於て必勝疑無し
發兌 東京 大阪屋號出版部 發賣 京城 大阪屋號 電話二〇八六

日本少年 三月號
活動寫眞 撮影失敗記 次郎冠者
▲日露戰話乃木大將の淚……陸軍中將 河合操
▲一番愉快であつた戰爭……陸軍大將 大島久直
▲雄飛號で東海道を突破……飛行船長 徳田少佐
受賞者一千名 大懸賞あり
▲密書……松山思水
▲先生の顏……宇野浩二
▲神社の話……伊東博士
川柳笑草……佐々博士
◎寫眞小說 金鑛の發見
◎寫眞活劇 金剛石
秩父山中の熊狩……有本芳水
定價拾錢 郵稅壹錢 半年七册 稅共七拾錢
東京京橋 實業之日本社 振替六三二番

少女の友 三月號出來
新作子守唄(三月號當選)
わん〳〵コロ〳〵濱の石浪にもまれて淡路島あたしも行きたい夢の島玉よりきれいな白い石泣けば千鳥が飛んで行く
コロ〳〵轉んで何處へ行く通ふ千鳥の濱へ行く夢の島には五色の石星よりきれいな青い石泣かずに行きましよ夢の島
◎病氣中の心得として……下田校長
◎態々引返してまで案內す……塗師谷教頭
◎習字の度每に硯を洗ふ……坂本訓導
■顏を埋めたまゝ(詩)(西條八十)
■心の十字路(小說)(水原野)
○定價拾錢郵稅壹錢○半年增刊共七册稅共七拾錢
東京京橋 實業之日本社

齒科
京城壽町八番地(浦尾旅館南横)
齒科 辰市醫院
齒科醫學士 辰市捨三郎

●近鐵道運輸狀況

朝鮮鐵道局二月中旬に於ける運輸成績[illegible]收入十八圓八十八錢にして之を前年同期に對比する時は乘車人員に於て[illegible]平均收入に於て二圓二錢何れも增加したりと

[illegible]て個人に貸下げ成林の上は之を當人に下附す可き方針にて目下出願人を募集し居れるが同山は延長三里に亙り[illegible]て餘りに[illegible]の資金を要せずして成功し得る見込ある山希望者は義州郡[illegible]

[illegible]一千零三十五件なり

●洗濯物を竊む　京城樂園洞[illegible]

[illegible]を竊取したる廉にて鍾路署に引致さる

●賭博の眞最中　京城[illegible]

●內地から拘引狀　京城新町

十七番地岩田方居住安井乙市は下關[illegible]取押へらる

●慘たり空中の悲劇

六千呎の高空より燃え下る

パアルタック來電に依れば獨逸ツエツペリン飛行船エル第七十七號は南方六千呎の空中に燈火を點じたるまゝ風に動搖しつゝ航行困難なり折柄佛軍の發射したる發火彈の一は該飛行船を貫通して火災を起し全船火焰に包まれ天空を焦しながら徐々に下降著陸すると同時に搭載したる爆彈悉く爆發せり佛兵は直に驅け付けたるが船體全部は無慘に破壞し乘組員三十名の焦死せるを發見したり他の一隻のツエッペリンは僚船の慘狀を見や逃走せり(倫敦電報)

●支那商人の戰爭成金

獨逸製縫針の拂底＝上海からの輸入

朝鮮に於ける支那人の商賣は近來餘り振ひません、二十年以前の日清戰爭當時と比較すれば殆んど隔世の感ありと申すべきでありませう、商人の多くは何れも地勢上山東省の者が多く仕入元は多く

▲上海との連絡があります、その取扱ふ商品は主として支那織の絹織物が多く次いで細類雜貨染料等も輸入して居ますが今では殆んど日本內地仕入の商品が大部分を占めて來ました、上海から輸入した商品は一應京城仁川の御問屋の手に渡りそれから各地の支那商人及び朝鮮商人に卸されますが一昨年は賣金の回收が著かず非常に困りました、昨年及び本年はだいぶ景氣も引直つたやうですが將來は

▲何んとか損害の無やうに目下支那商一同の組合で申合せをやつて居ます、われ〳〵支那商人の一番困るのは金融機關の不完全な一事です由來支那商人は餘り實力以上の取引は致しませぬが何分上海から仕入れて小賣商店に掛賣する間には却々の資金を要しますので弱ります、支那名物の織物類も昨今では內地製品及び朝鮮製品と競爭せなければならぬ趨勢となりました、と云ふのは昨年共進會當時

▲朝鮮製の絹綿織物が一般田舍の鮮人にまで知れ渡りましたのでだん〳〵われ〳〵の商賣も困難になります、內地でも大分戰亂のお蔭で假分限者が出來たやうですが支那商人も染料藥品金物等を取扱ふ方面では隨分甘い利益を占めました、少い方では獨逸製の縫針の拂底で儲けた者もあります、從つて本家

▲本元の上海商人は何れも隨分儲けたやうです併し支那でも昨今自作自給の覺醒を始めたものか染料などを是非自國で製造したいと奔走して居ます(京城鮮商會長談)

●十四吋砲十二門の齊射

新艦伊勢の威力

神戶川崎造船所に於て目下建造中の超弩級戰艦伊勢は工事大に進捗し來る十月三十日を以て進水の豫定なるが之が監督は次の如く語れり『伊勢は我國私設造船所で初めて建造する超弩級戰艦であつて排水量三萬六百噸實馬力四萬八千といふ巨艦だ其の排水量が著しく大きいのと共に

▲防禦力も從來の艦船に比し實に比較にならない程增大し舷側水線上の各要部々々に厚さ十二吋のハーベー鋼板で張詰めてある、これだと八千米突の距離に於て亮く十四吋砲の彈丸を撥ね返すの力がある唯遺憾とするのは速力の點でこれは斯かる巨大なる戰艦としての性質上稍鈍いのは止むを得ぬ次第である其の代り本艦の特色とすべきは其の設計が歐洲戰亂から得たる敎訓を經とし我海軍當局者の獨創的の考案を緯として互に取捨按配し各部の構造に多くの改良が加へられた事だ例之其の上甲板に配列すべき十四吋巨砲は總て十二門ありて二聯裝の砲塔六基より成り此の一二門の主砲は全部片舷齊射を爲し得ることが其の第一即ち攝津河內の如きは十二吋

▲主砲十二門を有しながら其の片舷に於て六門の齊射を爲し得るのみで他の六門は其間は袖手をして遊んで居なければならぬのに反して伊勢の攻擊の力の如何に偉大なるかを想像し得られるであらう、而して此の巨砲は十二浬の遠距離に於て鹿島、香取、三笠等と同級の艦船の裝甲帶を貫通することが出來るのである中甲板兩舷の五吋半の副砲は十二門ある、又最近戰術上一大變革を起さしめんとしてゐる例の飛行機飛行船に備へん爲め八門の

▲航空機射擊砲を有し十一臺の探照燈を備へてゐるも最大なる特色とすべきである其他の方面に就て見るに近年に於て我海軍が南洋其他に於て屢次試みに長途航海の經驗に鑑みそれ等の設備も遺憾なく整ひ重砲をも併用する機關はブラウン、ガルチス式タービン四箇の外水管式二十四箇を備へてある』云々(大阪朝日)

●贅澤は云はれ無い

▼屑の種類が百八十種
▼利益の多い屑買商人

京城を初め朝鮮各地に居住してゐる內地人は內地に住まつてゐる者に比べると日常の生活程度が幾分贅澤だ之れは云ふ迄も無く收入が多いからである、他の各地方を廻つて歸京した人の話に依ると內地は到る處不景氣の呼聲が高い、それに比べると京城などは遙かに活況を帶びてゐるといふことである、併し

◇暮し易い朝鮮でも昨今

◇諸物價の騰貴に伴つて生活費が漸次膨脹して行くので日常の生活上廢物の利用といふことは決して見逃すべからざる要件である、一日に廢物利用と言へば譯ない樣だが借て實行することは容易でない、京城に住む古物買或は屑屋の話に依ると不用物中役に立たぬものとしては人間の死んだのと陶器類の燒屑と二つしかない他の物は何でも皆お金に爲る相だ一體京城に住む人などは大抵なものを塵溜箱に投り込んで平氣であるが彼れは實際惜しいものだ一概に屑物と云へば紙屑位に思つてる人々が多いが

◇屑と云つても百八十種

◇以上の種類が有つて悉く其種類に應じて値段の相違がある其れは一寸素人には分り兼る、所で小買人が一纒めにして其汚ない種々なものを撰分けて値段を付けて見ると先づ布片類が一斤十二三錢から二十五錢迄位中にも唐縮緬とか毛絲とかセルとかは高價な部類であるメリヤスの破れでも一斤四五錢で是は綿に打返す、汚い話だが男の褌の古手でも尙且つ煮直して洒すと何物にでも化ける、自轉車のタイヤから中[illegible]は古綿、硝子の破片、瓶類乃至は鳥の羽毛に至る迄決して捨てたものではない、紙類では古本、雜誌、新聞、藁紙などでも一斤二三錢の價値はある

◇殊に女の髮の拔毛或は

◇床屋で刈り棄てた髮毛なども其れ〴〵利用の方法は充分ある、何しろ數へ立てたら百八十餘種もある屑物でお金にならぬものは一品もない、斯うなつて見ると古足袋一足でも破れ靴一つでも只では棄てられない、殊に近來古金類の騰貴に際しては縱令些少な金屑でも棄ててはならない昔から能く儲かる仕事をボロい商賣と云ふが時に依るとボロ買ひはボロい利益をすることがある相で塵も積れば山となるとは爭れぬ屑商賣でがな

お揃ひで　暖い日射を浴びての散步

●田舍では公共事業が盛んだ

隈部警務部長の管內巡視談

隈部京畿道警務部長は頃日管內郡部地方の巡視を了へて歸任したが其感想談に曰く郡部の地方を巡視して感じた一端としては

■公共事業の實施されて居ることである、或は衞生狀態、道路の開鑿、橋梁の架設、各種の組合等の公益的な施設が比較的快よく實現されてゐた、是等の公共事業に對して農民は僻陬の部落に居住してゐる農民としては頗る留意したもので夫等に要する醵金或は勞役を吝まず大に努めてゐる、殊に江華島に於ける

■傳染病舍の如きは實に田舍としては勿體無さ過ぎる程のものが建築されてゐる、此は同島の或る朝鮮人の篤志家が首唱して義俠的に醵金したもので附近の者等も大に發奮して相應の金を集め其結果出現したものであるといふ、其他すべて助長行政的の事業が見るべきもの多く地方の豪農地主或は有力者が頗る公共的事業に重きを措き一般民心が

■床しく表明されてゐるのは寔に賞すべきの美風である然るに是を市街地たる京城に比較して見ると予は聊か疑念なき能はぬのである、京城の人士とても別に公共的思想が乏しい譯ではあるまいが或は遠慮してゐるか又は一部に篤志家があつて一種の公共事業を計畫するとしても外部からいろ〳〵な批評でも受けるやうな事はあるまいかと自ら引込んでゐるのかどうも公共的事業が今少し民間にいろ〳〵

■計畫されて もよからうと思ふ、併し何れにしても有力者や富豪は市街地に多數を占めてゐるのは事實であるから、此際心ある京城の人士は大に公共事業の振起に心を致されんことが望ましいものである、事業の種類は其何たるを問はず苟くも世を益し

■社會のため になることであつたら何でもよろしい而も田舍の郡部地方に於て是等の美風を先に見るやうではと、つく〴〵感ぜられたのである。

●東海岸の赤潮

明太魚の試驗

咸北水產組合支部にて十五日行ひたる定時海洋觀測に依れば淸津近海々水溫度は前回(二月五日)の一度七分に比すれば一度五分を下降して二分を示し中層十二尋に於て零度二十五尋の海底に於て又零度を示せり而して水色は甚だ汚濁にして多數の微生物浮游するを見る此浮游生物は暗褐色なる植物性のものにして恐るべき赤潮なる事を確めたり潮流は南流して五分間に六十五呎の速度を示せり更に潮流と漁獲物との關係に就き調査する所に依れば赤潮の爲めウレギの如きは二三日前より全く姿を隱すに至りしが淸津高秣山端より西方約百五十間水深十四尋下に於て明太魚十尾を漁獲して之を檢するに體長に於て最長一尺六寸最短一尺四寸にして體量平均百二十八匁六分あり胃腸の含有物は極めて少量にして生殖時期に在るを以て見れば此の赤潮は明太魚の遊弋には少しも關係なきが如しと云ふ(淸津)

●新義州小公園

山根將軍の果樹園

朝鮮鐵道局にては新義州驛附近に小公園の設備を爲すことゝなり其第一期計畫として今春解氷早々金三千圓を投じ停車場南方公園豫定地の地均工事を爲し續て池を掘り樹木の荒植を爲す筈なるが右の外是れに策應する心算にや名村驛長酒井ホテル主任外數氏は相協力して停車場を中心とし鐵道官舍附近迄の一帶に亙り樹木花卉類を植付け來往者の華やかなる散步の場所として今夏より役に立つ樣目下其準備を急ぎつゝあるが山根武亮將軍も愈々今春の解氷期を待ちて新義州に來住し差當り驛前の廣漠たる空地を借入れ植林及び果樹園用の苗木養成に從事すべしと云へば今後春より夏秋にかけて市民の好散策地たるに至るべきか(新義州)

●大連飛行延期

本日も朝來曇天且風強き爲め奉天大連間大飛行は之を延期せり(大連特電)

●白川井上兩前代議士特赦

選擧違反事件に座せる前丸龜市選出代議士白川友一前廣島縣選出代議士井上角五郎等特赦せらる

●海賊の一團極刑に處せらる

昨年十二月中高陽署の手に檢擧せられたる漢江の海賊京畿道金浦郡古村面楓谷里生れ同郡高內面居住の牛肉販賣業裵興烈(三〇)及び同郡[illegible]面生れの船夫鄭仁植(三二)江華郡生れ同郡[illegible]居船夫全學淳(三三)の强盜殺人等に關する事件は二月二十三日京城地方法院に於て判決あり裵興烈鄭仁植の兩名は各死刑全學淳は懲役十年の處分となりたるものなるが前記兩名は大正四年十一月三日夜開城郡柳浦の漢江にて强盜をなし尙同月五日夜は開城郡[illegible]道面德隱里漢江岸にて籾船を襲ひ乘組船夫高運誅高泰鳳金雲七の三名を帆綱にて縛り揚げ漢江の水流に放り込みて殺し其他を强奪したるものにて全學淳は其後强盜の片割として籾船を襲擊したるものなり

●學校小使の詐欺

高陽郡漢芝面板井洞李龍瑛(三一)は往十里公立普通學校の小使李公中同校敎師韓某の印章を僞造し昨年九月中同敎師の使なりと稱し往十里の米商李光天より白米を詐取したるを手初めに外三名の內鮮人より同敎師の名を以て價格三十一圓餘許りの雜品を詐取したる爲め纛島警察署に引致されたり

●末怖ろしい鮮童

住所不定の勞働者韓相福(十一)といふ鮮童は二月十日旭町一丁目薪炭商天池某方の木炭一俵を竊取し之を鮮人燒芋屋に賣却して食料に代へたる事露顯し本町署の警官に取押へらる

●勳記を褫奪さる

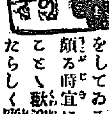
京城諫洞十八番地の李璣奎は勳六等瑞寶章佩領者なるが過般橫領罪に依り懲役六箇月の處分となりたるより右の勳記を褫奪されたり

●古賀氏研究所

靑年洋畫家古賀祐雄氏は今回仁川山手町仁川倶樂部前に洋畫研究所を設け有志の入所研究を歡迎すと

●山口氏令息の葬儀

山口大阪每日京城特派員令息辰男氏の葬儀は二十四日午後四時南山本願寺に於て執行會葬者は林市藏、山形閑氏等を初め同業者、同窓生等百餘名ありたり



▲本社で懸賞募集をしてゐる歌謠は頗る時宜に適したことゝ歡迎を受けたらしく應募の葉書が每朝編輯局に束になつて來るといふ有樣▲中には江原道の山の中から大に勇壯なラッパ節を寄せたり奉天あたりから奉天名所を讀み込んだ端唄などが來るかと思へば▲また艶めかしい筆の跡も床しく何券の某子と名乘つて特別に『之は妾が一度三味線に乘て見たのですから』とことわり書きをしてあるのもある▲中にはまた二三人の藝妓が連名で一つの唄を寄越したり裏は女の字で表は男の字で來るのもある。之はまさかお客の代作でもあるまい▲二三日前のある晚、松葉亭の玄關に立つた身裝賤しからぬ朝鮮人が二人▲仲居が裏二階の四疊半に通すと、一圓札を一枚死出して酒をといふのは、必定此れ丈で飲ませろといふことだらうと其札を受取つて運んで來たのはいゝものに吸物▲客が二人で時々英語で話すのを聞いた仲居が是れは米國歸りのハイカラらしいからと盛んに[illegible]取扱ひの朝鮮語を知つてるだけ使つて話しかける▲其中に藝者を呼んで呉れとの注文に京城券で何とかいふのが來たのを見て客が朝鮮語で不味いといふと▲仲居の御機嫌斜にして、お前達は馬面の癖にとあつたので客の方でもうそろ〳〵此處でと思つたか內地人跣足の流暢な本語で文句を言ひ出したので▲仲居の方で悉皆敗北、此客は朝鮮貴族

京城春川間自働車運轉廣告

京城春川間自働車營業を今月廿五日より開始仕り(每日午前八時京城發)親切叮嚀に取扱可申候間御旅行の方は御乘車の程奉願上候

京城南大門通り一丁目二十二番地　廣橋京春自働車組　電話二一一九番

優等淸酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番

■當店の特色

品質精撰量目確實弊店は御得意樣の御心になりて誠實に勉强致します殊に海產物は弊店の特色卸賣は特に割引致します

海產物　米穀
酒醤油　瓶詰　鑵詰
其他食料品一切

新龍山三角公園前　香椎商店　電話四百五番　振替口座京城一七一一番

世界無比　白馬ウヰスキー

營業品目

肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料

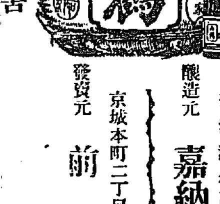
京城東大門外紅紙町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番

石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　九七三番　振替口座京城四〇〇番

大日本優等淸酒　ハクツル

品質純良　衞生無害



攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

資本金　五百萬圓　頭取　安田善三郎
株式會社　百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話五八番　一九四番　振替貯金京城一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

婦人科　產科　入院分娩應需
京城旭町壹丁目　院主　衣笠　中央婦人病院　(電話二三四〇番)

千生瓢 (135)

須藤南翠作　筒井年峰畫

杜鵑一聲(十一)

英威を中天に輝かした、北之庄城の天守閣の炎上の黒烟は、傾きかゝる日の光を覆つて、熖々として大空を焦した。この聳くべき猛烟を望んで、こゝに兩樣の悲劇と、喜劇とが演ぜられた。

上村六左衛門は主命背きがたく、殉死の決心を翻へして、末森殿御母子をあやしき旅輿に乘せ參らせ、北之庄を後にして、進まぬ足を進めながら、其夜はいぶせき民家に安からぬ夢を結び、明る日は敵なき路を潜みながら、日の將に傾かんとする頃、推谷の方を志ざして、竹田といふ處まで辿り着いた。折しも人々の北の天をうち仰ぎて、かにかくと言ひ罵るに、六左衛門も何心なく、後の方を顧みれば、今や北之庄の落ると覺しく、黒烟濛々として中空に立ち騰つた。六左衛門尉は、輿脇に進み寄つて、

『匠作には、只今御生害と相見えまする。北之庄の烟尋常ならず見えまするわ』と申し上げた。

『轎輿暫らく』末森殿は其處に轎輿を立てさせて、

『姫が輿に旅硯を上せたと思ふ。料紙とゝもに此方にたもれ』と申し付けられた。

六左衛門尉が矢を參らすると、口に稱名を誦へながら靜かに墨すり流して、懷紙に筆を走らせ

今こゝに六十路餘の日の數をたゞ一時に返しぬる哉

と認めて姫君に示された。姫君もまた硯筆を請うて

おもひきや竹田の里の草の露
母上共に消む物とは

と詠じて、御母子ともに生害を遂げられたので、六左衛門は介錯し參らせて、僧を請じて懇に菩提を弔ひ、やがて荼毘の烟に附して、其身も共に立ちながら腹かき切り、同じ草葉の露と消えたのであつた。

此時羽柴筑前守秀吉は、前田又左衛門利家を同伴して、愛宕山に取登り、北之庄の要害を見渡しながら

『流石は柴田が縄張ほどあつて、要害よく整うた。此城を勝家持ち固めては、事面倒ぢやらう。籠城の準備整はぬうちに、疾く打入らうよ』と言つた。

其言の終らぬうちに、北之庄の天守に火起つて、熖々と燒け上るのを秀吉はぢつと眺めてゐた。次第に熾んになる火勢を見て、窃と利家を顧みた。

『又左殿、あの火の手城の天守と覺ゆるが、和殿は何と思はるゝな』

利家は篤と其火勢に目を着けて『必定計略おざり申さう』

『計略とな』

『いかにも、勝家城に火をかけて、自害したるやうに見せかけ、一先づ落ち候ふ事と存じ申す』

秀吉は笑ひながら

『勝家ほどの者が、天守に火をかけたからは、自害必定おぢやる。我も人も城持つ程の者は、天守一つにも、運を開かうと存ずる者ぞ。必定勝家自害致いた事と存ずる、更に別條はおざるまい』

利家は猶肯諾なかつた。

『御謎ではおざるが、一旦山林に逃げ籠り、再び運を開かれた、足利將軍尊氏なども、それかと存ぜらるゝに依つて、決して御安堵はなり申すまい』

『いやく、勝家があの體たらくにては、二年三年のうちに、再び義兵を擧ぐることはなるまいと存ずる。其内には探し出いで、縛り首に逢ひ申さんこと、何の疑ひおざらう。玄旨法印は何と思はるゝぞ』と、細川藤孝入道を顧みた。

玄旨法印は即坐に

昨日まで城の修理せし勝家も
けふは柴たく灰となり鳧

秀吉は是れを聞いて莞爾と笑つた『當意即妙、實に感吟おざる。さらば、首を檢、屍骸を探し出すには、四五日も費へるであらう。首死骸の檢分も入らざる事ぢや。是れより直に加賀の國へ打入り申さうぞ』と、自ら先に立つて愛宕山を下山した。

□ソーウル詩社草詠

○ 吉田ちどり

枯草の底にも潜む力ありていつしか野邊は淺みどりしぬ。

いさゝかの事を爭ひ怨きわに一人ゐよりて聞く冬の雨。

○ 高橋紫子

わがもてる紅絹の小布もうす色の眼鏡もよしと言ひし君かも。

君ゆゑにまことの兒のよみかへるうれしさ思ひ悲しさを知る。

思はれてある苦しさに疲れたる身にほの人を思ひそめてき。

悲しさの限りをたまひたゞ生きてあれとのたまふ神にすがれる。

病の癒ればやがて逝なき人の如くも肉づきて行く。

○ 田上南花

思はれてあれば心のいやおごり又泣かせつる悲しこのつみ。

熱ひけば空腹迫りよろくと飯をたべくく立つ男かな。

旅に病む一人ポツチの枕邊にランプ一つが守り居るかな。

側らにうつむける君顔上げよ遠山の雪夕日そめたる。

□オンドル會詠草(二)

千鳥

納馬堂を出で、千鳥に待つ艀　鴨原

會後二階に千鳥に冴ゆる闇　逸鹿

微恙こに寄となり千鳥聽く夜かな　兎邨

漁舟去る磯、月夜を鳴く千鳥　同

磯の雪を千鳥蹴く尖り峰の月　芳山

月に白き砂丘へ千鳥に飛べる　同

上ッ瀬の船唄や千鳥飛翔きて　同

枇杷の花

花枇杷に洒造場ひそかに並び合へる　兎邨

學校の唱歌聞ゆ花枇杷の寺　同

花枇杷の雨に鳥の飼摺る且　鴨原

母著に炭を繼ぐ花枇杷の雨　逸鹿

花枇杷に煤黒ロ雀啼かす虐り　芳山

瀧を漏る火の匂ひ枇杷咲き初めて　同

新刊紹介

▲寶川肥料(農業世界増刊第三號)各種肥料に就て研究の結果を發表し肥料、標品調査、試驗、施用の方法等見る可し(二十錢東京博文館)

▲活動寫眞雜誌(三月號)最近フヰルムの映畫説明數十を載せたり(二十錢東京市赤坂區)

▲帝國農會報(二)農學博士横井時敬の地主論小作の…其の他(十三錢東京赤坂區)

▲朝鮮基督教時報(七)五錢京城西小門町三

▲保險新聞(六の三)九錢東京市神田區北神保町

▲隨鷗集(一三六)二十五錢東京府豐多摩郡千駄谷町五二四隨鷗吟社

▲ミツワ文庫(三の一)十錢東京市日本橋區丸見屋

▲邦榮(三)十錢東京市日本橋區

▲山口縣阿武郡立秋圖書館一覽(非賣品)

皮膚科 徽毒科 皮膚病 徽毒病 麻病 勝胱病 生殖器病 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(電話一一七三番)
佐藤醫院

讀者の聲

▲京城も此頃内地と同樣になつて居るのに物價丈けは高いのみならず處々で違つて居る先づ速に一定の價格を作れ(小經濟學者)▲此冊紙の鮮に適當と思ふ新語(?)があつて大騷をして居たが其後何うなりましたかチト怪しい(水源地の番人)▲今年は例年になく暖氣なるより半耳洞の櫻はたしかに十五日位開花が早い樣に御座候(倉洞隱士)▲新設師團の軍隊も近く渡鮮すべきに付き大々的歡迎を計畫して如何致て京鐵の有志に注意す(老兵士)▲京城の電氣の暗い事と瓦斯の喧しい事は鳥渡他の都會にあるまい云ふ事だ(新入京者)▲先日京畿道江陽郡邑内に赴き二三日滯在せしが此所には大變懸き入たる宿屋あり江陽旅館と商札を張り二宿五食せしに別に異つた御馳走もなく殊にヒヤシに朝鮮漬物の扱で勘定四圓八十錢實に驚きゐるではないか(やられた生)▲近來保險會社にて被保險の死亡者に保險金を支拂はぬ所多數有之由速かに實地取調の上不正の會社の營業を中止さすべし(被害者の一人)

京日案内

◉日本少年三月號 本號には一千名賞の大懸賞(日本史問題)へ今初め北館名將軍の勇ましき戰爭談面白き小說などいづれも少年の好讀物のみにて數多き少年雜誌中殊に異彩を放てり價十錢東京實業之日本社

◉少女の友三月號 本號には前號に引續いて再び季節の作方に就いて說ける記事ありその他特殊に一日一話及び各學校長の訓話等有益なる記事多く數ある少女雜誌中異彩を放てり定價十一錢郵稅一錢實業之日本社

普通(一回金十錢(一圓以上割引)假名一回分に金五錢增)

◉上等 時付賃間家族同樣一ケ月十圓以上 京城本町一の三八 電話二七七三 515

◉雇入たし年齡二十歳以上三十歳迄身元確實な下女雇入たし家族少數雜用少し有志急雇入たし 姓名在社 514

◉簿記に熟達せる者實業見習の為め雇はれたし 姓名在社 513

◉果樹栽培に經驗ある者一名至急雇入れたし確實なる保證人を要す 姓名在社 509

◉藥局生一名缺員あり希望者は本人來院す可し 仁川 佐藤醫院 506

◉外交員採用 黄金町三ノ二四 一前中央所 日華生命保險株式會社出張所 502

◉吉木賀入 ▲御用參上 ▲地方送金 京城本二 森田文明光堂書店 363

◉福引大景品付代價大進呈 有利業務男女外交員募集希望者來談 東京市京町道路行所朝鮮支部 京城古市町一四(電東道)電五八五 395

◉種苗 北海道札幌農科大學正門前 367

◉御ー品一切撤廢に付無比高價買入 吉木次第即刻參上 ▲京城本町四 電話二七八一番へ 群星堂 315

番外(一回金六十錢(割引)假名一回分に金五錢增)

高價買入古寫眞機 京城南大門通三丁目電話五四九番 大阪上田寫眞機支店 513

忠州 到着迅速運賃廉價 行李荷物取扱開始仕候 京城釜路五丁目 酒井運送店 振替貯金口座…電話貳八九番 504

▲関静にて眺望佳絶市内出入極便 宿料特に低廉 旅館御料理仕出仕候 ▲下宿 ◉客室清潔取扱親切 ◉西小門町 電六六三 横松館(全部電燈完備) 388

質商 ◉移轉廣告(元伊佐)弊店は秘密を守り親切丁寧を旨とし御客様の便利を計り申候 櫻井町一丁目大正館北横丁 黄金町と櫻井町角南入る 東屋 382

◉二月十五日より大安賣 ○東京玩具…雛と人形外一切の玩具 地方は御注文次第送附す ○京城本町二丁目 ▲佐藤玩具店(郵便局前) 373

恩給 年金類低利長期立換短期 不及便法あり其他擔保信用貸仕候 無保險地方在住者上京に ○京城南大門外 御成町 山口屋 338

◉電話二千五百九十五番◉ はねつきうちみくじき治療 ◉明治町交番より東 フランス教會前 川端 仁壽堂 336

開業 新龍山漢江通(東本願寺下)日本赤十字社救護看護婦長 電話三六 不知盡者に限無料御依頼に應す 産婆 鹿川わき 320

◉はねつきうちみくじき等 一切の治療御依頼に應す 旭町 柔術道場 332

ミツワ石鹸

値上稟告

歐洲大戰亂勃發以來、化學製品諸原料の輸入杜絶、或は拂底の結果工業界は、亂調を呈し、原料を輸入に仰ぐ諸製品は暴騰して、殆んど底止する所を知らざる有樣に御座候殊に頃者此大暴騰の餘波は、我邦市場に於ける一切の諸物資に及び、價格の騰貴を見ざるものは皆無の狀態と相成候元より各種の石鹸に於ても此大勢に抗し難く、石鹸製造者は既に化粧石鹸に於て三割、洗濯石鹸に於て五割の値上を斷行仕候然るに小店は今次の戰亂は容易に終局を告げざるべきを見越し、勃發以來石鹸製造に要する諸原料の蓄積と、豫て國産原料の研究とに努力し、飽くまで從來の品質と價格とを維持すべく專念計畫致居候處

ミツワ石鹸

の品質優良なると、使用して德用經濟なると、皮膚衛生に他の企及し難き特質とを認められ、俄然其需用を激增し前年度に比し約三倍餘の賣行を增加致候に就き、昨冬工場の設備に大擴張を加へて製造に努力致候も、到底滿足に供給する能はざる盛況に御座候。斯る需用の激增販額の夥大は貯藏原料中の一部に品切を生じ候爲、從來市價に超然として專ら品質と價格との維持に努め居候も、事情斯の如く、

一割五分値上

の已むを得ざる次第と相成申候。尤も此値上は一部品切原料に對する價格の變動のみに有之候間、一般石鹸に對する時價に比すれば、頗る低廉のものと相成、品質價格に比較して、最も經濟にして德用無比の家庭用石鹸に御座候間、猶陸續御用命の程奉希上候　敬具

ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目
製劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
登錄商號 丸見屋商店
電信略號 ○ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番
營業部電話浪花二〇、四四八、四四九、四五〇

尼崎汽船仁出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 二月廿六日 後四時出帆
大有丸 三月一日 後四時出帆
神代丸 三月四日 後四時出帆
蛟龍丸 三月 日 後四時出帆
君が代丸
仁川海岸通二丁目電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船 仁川出帆

鎮南浦及沿岸航路は各船の便あり詳細は本支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會を乞ふ
京城南大門前 松原運送店 電話(二一七〇)

全羅丸 三月三日 釜山發
京畿丸 三月十三日
黄海丸 三月七日
成鏡丸 三月廿六日
(門司より釜山各港寄港)

隱城丸 三月 四日 元山發
昌平丸 三月 二日
鎮城丸 三月廿七日
(元山より各港經由浦鹽行)

永興丸 每月廿八回 元山發(北久味、山裡浦行)

盈德丸 二月廿八日 釜山發(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港浦鹽行)

江陵丸 每日 (浦項) 釜山發
義陽丸

三浦丸 二月廿八日 釜山發(長生浦、方魚津寄港)

海州丸 巨濟丸
統營丸 原寶丸 每日 釜山發
(各港經由麗水行(三日目一回木浦行))

順天丸 三日目每 木浦發(各港經由麗水行濟州より濟山行に接續)

慶興丸 二月廿五日 木浦發(各港經由濟州島(西歸))

公州丸 二月二日 木浦發(南多島海鳩島行(月三回))

公州丸 二月廿七日 木浦發(各港經由濟州島行(東廻))

全州丸 三月二日 仁川發(海州經各港經由、甕津又は白翎島行)

江原丸 二月 日 仁川發(芝罘、大連、青島行)

麗水丸 二月廿七日
晋州丸 三月三日 仁川發(各港經由木浦行)

錦江丸 每日午前 仁川發
南陽丸(江華島、喬桐島、海州行)

平安丸 三月三日 群山發
(往復 大黑山、木浦、門司、若松行)

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
立神丸 二月 日後五時出帆
○元山浦潮行
立神丸 三月十六日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 三月七日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行
小倉丸 二月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、浦潮行
第三琴平丸 三月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 三月一日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸 每月二日九日十六日廿三日廿六日 午後十時出帆
釜山濱町立新町本船取扱店 大池回漕店

阿波國共同汽船出帆

朝鮮總督府命令航路
之泉、大連行
共同丸 二月廿七日後二時入港 二月廿九日前九時出帆
大連にて旅客貨物運輸送取扱仕候
芝罘にて山島行定期船に接續旅客貨物共直通取扱仕候
と同時に鉄道各地へ聯絡輸送取扱可仕候

第一阪鶴丸
城津、清津、浦潮行(元山出帆)
月 日 後九時出港
月 日 出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三 (元山出帆)
月 日 前八時
月 日 出帆

阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八〇番) 山下回漕部
仁川代理店
春日町(電話二四四七番) 田口回漕部
元山代理店
南大門通(電話(二六八二〇一七) 河村運送店
京城取次店

商況

大阪株式特電

九十銭と割れ八十六銭と押し戻し九十六銭と...[illegible] 賣にて九銭と...[illegible] 七銭と押したるも大阪勝高を...[illegible] 中括九圓九十銭 力中括十圓五十銭等にて...[illegible]
先十銭六十八銭と四銭高に...[illegible] 九銭と踊り七銭...[illegible]
...[illegible]

平均値段 十圓六十八銭 十圓六十八銭 十圓七十銭